

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-134371

(43)Date of publication of application : 20.05.1997

(51)Int.Cl. G06F 17/30

(21)Application number : 08-057217

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 14.03.1996

(72)Inventor : KANDA YOJI
ENDO SUSUMU

(30)Priority

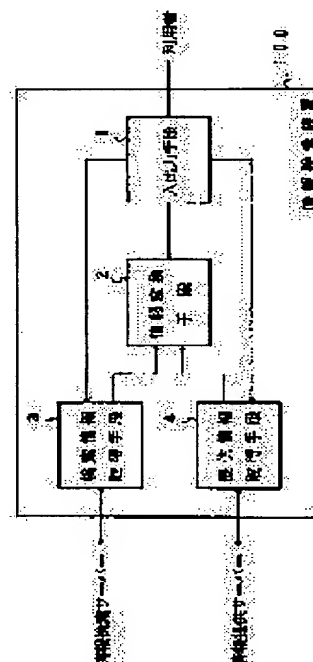
Priority number : 07229902 Priority date : 07.09.1995 Priority country : JP

(54) INFORMATION RETRIEVAL DEVICE AND INFORMATION RETRIEVAL SYSTEM USING THE DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically acquire presented information such as advertisement information at the time of acquiring retrieved information and to integrate the acquired information with retrieved information.

SOLUTION: When retrieving information acquiring data are inputted from an I/O means 1, a retrieving information acquiring means 3 acquires retrieving information from an information retrieving server to be a world wide wave(WWW) server for an internet in accordance with the inputted data. A presented information acquiring means 4 acquires presented information from an information presenting server to be the WWW server in accordance with a presented information acquiring data previously inputted from the I/O means 1 prior to a retrieving request. An information editing means 2 adds the presented information to the retrieving information. These information are displayed by the I/O means 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.10.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3224507

[Date of registration] 24.08.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 9 - 1 3 4 3 7 1

(43) 公開日 平成 9 年 (1997) 5 月 20 日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G06F 17/30			G06F 15/403	380 D
			15/40	310 F
			15/403	340 A
			15/419	320

審査請求 未請求 請求項の数 27 O L (全 40 頁)

(21) 出願番号	特願平 8 - 5 7 2 1 7	(71) 出願人	0 0 0 0 5 2 2 3 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号
(22) 出願日	平成 8 年 (1996) 3 月 14 日	(72) 発明者	神田 陽治 神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番 地 富士通株式会社内
(31) 優先権主張番号	特願平 7 - 2 2 9 9 0 2	(72) 発明者	遠藤 進 神奈川県川崎市中原区上小田中 1 0 1 5 番 地 富士通株式会社内
(32) 優先日	平 7 (1995) 9 月 7 日	(74) 代理人	弁理士 森田 寛 (外 1 名)
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

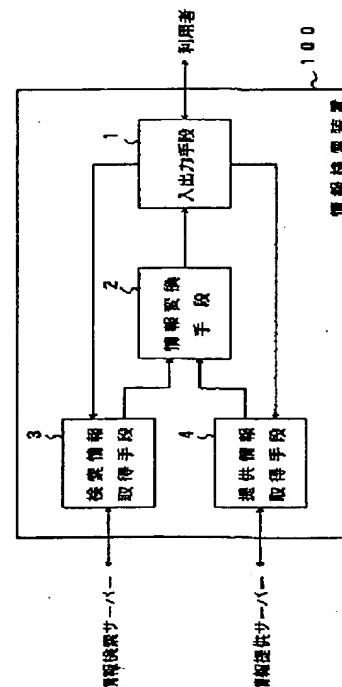
(54) 【発明の名称】 情報検索装置及びこれを用いた情報検索システム

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、情報検索装置に関し、検索情報を取得する場合に自動的に広告情報の如き提供情報を取得し検索情報に組み込むことを目的とする。

【解決手段】 入出力手段 1 から検索情報の取得用データが入力された場合、このデータに従って、検索情報取得手段 3 がインターネットの WWW サーバーである情報検索サーバーから検索情報を取得する。これと共に、予め検索依頼に先立って入出力手段 1 から入力された提供情報の取得用データに従って、提供情報取得手段 4 が WWW サーバーである情報提供サーバーから提供情報を取得する。情報編集手段 2 が前記検索情報に前記提供情報を組み込む。これらが入出力手段 1 により表示出力される。

本発明の原理構成図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 検索情報及び提供情報を取得するためのデータを入力すると共に、取得した検索情報及び提供情報を表示出力するための入出力手段と、

前記入出力手段から入力された検索情報を取得するためのデータに従って、当該情報検索装置の外部の情報検索サーバーとの間で通信を行って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得する検索情報取得手段と、

前記入出力手段から入力された提供情報を取得するためのデータに従って、当該情報検索装置の外部の情報提供サーバーとの間で通信を行って前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得する提供情報取得手段と、
前記検索情報取得手段によって取得した検索情報に前記提供情報取得手段によって取得した提供情報を組み込む情報変換手段とを備え、

前記入出力手段から検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記検索情報取得手段が当該検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、前記提供情報取得手段が予め入力された提供情報を取得するためのデータにより
20 予め定められた前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得し、前記情報変換手段が当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込み、これを前記入出力手段が表示出力することを特徴とする情報検索装置。

【請求項 2】 前記入出力手段は、検索情報を取得するためのデータである情報検索サーバーを指定するデータ及び検索情報を指定するデータを入力するための検索条件入力手段と、提供情報を取得するためのデータである
30 情報提供サーバーを指定するデータ及び提供情報を指定するデータを入力するための提供条件入力手段と、取得した検索情報及び提供情報を表示出力するための情報表示手段とからなり、

前記検索情報取得手段は、前記検索条件入力手段から入力された情報検索サーバーを指定するデータを格納しこれに従って情報検索サーバーを指定する情報検索サーバー指定手段と、前記検索条件入力手段から入力された検索情報を指定するデータを格納しこれに従って検索すべき情報を指定する検索情報指定手段と、前記情報検索サーバー指定手段及び検索情報指定手段の指定に従って当該情報検索サーバーとの間で通信を行ってこれから当該
40 検索情報を取得する情報検索サーバー通信手段と、前記情報検索サーバー通信手段によって取得した検索情報を格納する検索情報保管手段とからなり、

前記提供情報取得手段は、前記提供条件入力手段から入力された情報提供サーバーを指定するデータを格納しこれに従って情報提供サーバーを指定する情報提供サーバー指定手段と、前記提供条件入力手段から入力された提供情報を指定するデータを格納しこれに従って検索すべき情報を指定する提供情報指定手段と、前記情報提供サーバー指定手段及び提供情報指定手段の指定に従って、
50

当該情報提供サーバーとの間で通信を行ってこれから当該提供情報を取得する情報提供サーバー通信手段と、前記情報提供サーバー通信手段によって取得した提供情報を格納する提供情報保管手段とからなり、

前記情報変換手段は前記検索情報保管手段に格納された検索情報に前記提供情報保管手段に格納された提供情報を組み込むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報検索装置。

【請求項 3】 前記提供情報取得手段は、更に、情報検索サーバーを指定するデータを格納する情報検索サーバー保持手段と、検索情報を指定するデータを格納する検索情報保持手段とからなり、

前記情報提供サーバー通信手段が、前記情報検索サーバー保持手段の格納する情報検索サーバーを指定するデータと、検索情報保持手段の格納する検索情報を指定するデータとを、当該情報提供サーバーに送ることを特徴とする請求項 2 に記載の情報検索装置。

【請求項 4】 前記入出力手段は、検索情報を取得するためのデータである情報検索サーバーを指定するデータ及び検索情報を指定するデータを入力するための検索条件入力手段と、提供情報を取得するためのデータである
20 情報提供サーバーを指定するデータ及び提供情報を指定するデータを入力するための提供条件入力手段と、取得した検索情報及び提供情報を表示出力するための情報表示手段とからなり、

前記検索情報取得手段は、前記検索条件入力手段から入力された情報検索サーバーを指定するデータを格納しこれに従って情報検索サーバーを指定する情報検索サーバー指定手段と、前記検索条件入力手段から入力された検索情報を指定するデータを格納しこれに従って検索すべき情報を指定する検索情報指定手段と、前記情報検索サーバー指定手段及び検索情報指定手段の指定に従って当該情報検索サーバーとの間で通信を行ってこれから当該
30 検索情報を取得する情報検索サーバー通信手段と、前記情報検索サーバー通信手段によって取得した検索情報を格納する検索情報保管手段とからなり、

前記提供情報取得手段は、前記提供条件入力手段から入力された情報提供サーバーを指定するデータを格納しこれに従って情報提供サーバーを指定する情報提供サーバー指定手段と、情報検索サーバーを指定するデータを格納する情報検索サーバー保持手段と、検索情報を指定するデータを格納する検索情報保持手段と、前記情報提供サーバー指定手段の指定に従って、当該情報提供サーバーとの間で通信を行ってこれから当該提供情報を取得する
40 情報提供サーバー通信手段と、前記情報提供サーバー通信手段によって取得した提供情報を格納する提供情報保管手段とからなり、

前記情報提供サーバー通信手段が、前記情報検索サーバー保持手段の格納する情報検索サーバーを指定するデータと、検索情報保持手段の格納する検索情報を指定する
50

データとを、当該情報提供サーバーに送り、
前記情報変換手段は前記検索情報保管手段に格納された
検索情報に前記提供情報保管手段に格納された提供情報
を組み込むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報検索
装置。

【請求項 5】 提供情報に対する利用の履歴を記録する
提供情報利用履歴記録手段と、

前記提供情報利用履歴記録手段の記録する内容を読み出
し又は書き込みするための提供情報利用履歴通信手段と
を更に備え、

前記入出力手段から検索情報を取得するためのデータが
入力された場合に、前記提供情報利用履歴記録手段が当
該データが提供情報を利用したものである場合に利用の
履歴を記録し、

当該情報検索装置の外部から読み出し又は書き込み要求
があった場合に、前記提供情報利用履歴通信手段が提供
情報利用履歴記録手段の内容についての読み出し又は書
き込みを行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の
いずれかに記載の情報検索装置。

【請求項 6】 前記情報検索サーバー及び情報提供サー
バーは WWW サーバーであり、インターネットを介して
WWW ブラウザとしての当該情報検索装置と接続されて
いることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか
に記載の情報検索装置。

【請求項 7】 前記情報提供サーバーは提供情報として
の広告情報を当該情報検索装置に送り、

前記情報変換手段が検索情報に広告情報を組み込み、こ
れを前記入出力手段が表示出力することを特徴とする請
求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の情報検索装置。

【請求項 8】 前記提供情報を指定するデータは、当該
情報検索装置の利用者の属性情報であることを特徴とす
る請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の情報検索装
置。

【請求項 9】 提供情報を格納する提供情報データベー
スと、

提供情報を指定するためのデータを用いて前記提供情報
データベースに格納された提供情報を検索する検索エン
ジンと、

提供情報を指定するためのデータを含む提供情報の提供
依頼を外部の情報検索装置から受信した場合、当該提供
依頼に対する応答として前記外部の情報検索装置に対し
て、前記検索エンジンが提供情報を指定するためのデー
タを用いて検索した提供情報を送信する提供情報送出手
段とを備え、

前記外部の情報検索装置から提供情報を指定するための
データを受信した前記提供情報送出手段が、前記検索エ
ンジンに前記提供情報データベースの検索を依頼するこ
とを特徴とする情報検索装置。

【請求項 10】 前記提供情報送出手段は、提供情報を
指定するためのデータを格納する提供情報指定手段と、

前記外部の情報検索装置との間で通信を行う情報提供サ
ーバー通信手段と、前記検索エンジンが前記提供情報デ
ータベースから検索した提供情報を格納する提供情報保
管手段とを備え、

前記提供情報送出手段が提供情報を指定するためのデー
タを前記提供情報指定手段に格納し、

前記検索エンジンが、前記提供情報指定手段に格納され
た提供情報を指定するためのデータを用いて前記提供情
報データベースを検索し、当該検索の結果である提供情
報を提供情報保管手段に格納することを特徴とする請求
項 9 に記載の情報検索装置。

【請求項 11】 前記提供情報送出手段は、更に、情報
検索サーバーを指定するデータを格納しこれに従って情
報検索サーバーを指定する情報検索サーバー保持手段
と、検索情報を指定するデータを格納しこれに従って検
索すべき情報を指定する検索情報保持手段と、取得した
検索情報を格納する検索情報保管手段とを備え、

前記提供情報送出手段が、検索情報を取得するためのデ
ータである情報検索サーバーを指定するデータ及び検索
情報を指定するデータの付加された提供情報の提供依頼
を外部の情報検索装置から受信した場合に情報検索サ
ーバーを指定するデータ及び検索情報を指定するデー
タを、各々、前記情報検索サーバー保持手段及び検索情報
保持手段に格納し、前記情報提供サーバー通信手段に前
記情報検索サーバー保持手段及び検索情報保持手段の指
定に従って当該情報検索サーバーとの間で通信を行って
これから当該検索情報を取得させ、当該取得した検索情
報を前記検索情報保管手段に格納し、

前記検索エンジンが、前記提供情報指定手段に格納され
た提供情報を指定するためのデータと前記検索情報保管
手段に格納された検索情報とを用いて前記提供情報デー
タベースを検索し、当該検索の結果である提供情報を提
供情報保管手段に格納することを特徴とする請求項 10
に記載の情報検索装置。

【請求項 12】 当該情報検索装置が提供情報を送信す
る前記外部の情報検索装置に登録した一覧である情報提
供先リストと、

当該情報検索装置が提供情報を送信する前記外部の情報
検索装置についての提供情報の利用履歴を格納する提供
情報利用履歴データベースと、

前記提供情報送出手段が、前記情報提供先リストに登録
された前記外部の情報検索装置からその提供情報の利用
履歴を受信し、これを前記提供情報利用履歴データベー
スに格納することを特徴とする請求項 9 乃至請求項 11
のいずれかに記載の情報検索装置。

【請求項 13】 前記外部の情報検索装置は WWW ブラ
ウザであり、前記情報検索サーバーは WWW サーバーで
あり、インターネットを介して情報提供サーバーとして
の WWW サーバーである当該情報検索装置と接続されて
いることを特徴とする請求項 9 乃至請求項 12 のいずれ

かに記載の情報検索装置。

【請求項 1 4】 情報提供サーバーである当該情報検索装置は提供情報としての広告情報を前記外部の情報検索装置に送ることを特徴とする請求項 9 乃至請求項 1 3 のいずれかに記載の情報検索装置。

【請求項 1 5】 提供情報を指定するデータは前記外部の情報検索装置の利用者の属性情報であることを特徴とする請求項 9 乃至請求項 1 4 のいずれかに記載の情報検索装置。

【請求項 1 6】 検索情報としての所定の情報を参照させる情報検索サーバーと、提供情報としての広告情報を送る情報提供サーバーと、これらと網を介して接続されている情報検索装置とからなり、

前記情報検索装置に対して検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記情報検索装置が当該検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、提供情報を取得するためのデータにより予め定められた前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得し、当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込みこれを前記入出力手段により表示出力することを特徴とする情報検索システム。

【請求項 1 7】 前記情報検索装置が、検索情報及び提供情報を取得するためのデータを入力すると共に取得した検索情報及び提供情報を表示出力するための入出力手段と、前記入出力手段から入力された検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーとの間で通信を行ってこれから当該検索情報を取得する検索情報取得手段と、前記入出力手段から入力された提供情報を取得するためのデータに従って前記情報提供サーバーとの間で通信を行ってこれから当該提供情報を取得する提供情報取得手段と、前記検索情報取得手段によって取得した検索情報に前記提供情報取得手段によって取得した提供情報を組み込む情報編集手段とを備え、

前記情報検索装置に対して前記入出力手段から検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記情報検索装置が、前記検索情報取得手段により当該検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、前記提供情報取得手段により提供情報を取得するためのデータにより予め定められた前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得し、前記情報変換手段により当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込みこれを前記入出力手段により表示出力することを特徴とする請求項 1 6 に記載の情報検索システム。

【請求項 1 8】 前記情報検索装置が、前記情報提供サーバーからの当該提供情報を取得に際して、検索情報を取得するためのデータを付加した当該提供情報の提供依頼を前記情報提供サーバーに送り、

前記情報提供サーバーが、検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を

取得し、この検索情報と提供情報を取得するためのデータとに基づく提供情報を前記情報検索装置に送信することを特徴とする請求項 1 6 又は請求項 1 7 に記載の情報検索システム。

【請求項 1 9】 前記情報提供サーバーが、提供情報を格納する提供情報データベースと、提供情報を指定するためのデータを用いて前記提供情報データベースに格納された提供情報を検索する検索エンジンと、提供情報の提供依頼を前記情報検索装置から受信した場合に当該提供依頼に対する応答として前記情報検索装置に対して前記検索エンジンが検索した提供情報を送信する提供情報送出手段とを備え、

前記提供情報送出手段が、前記情報検索装置から検索情報を取得するためのデータを付加した当該提供情報の提供依頼を受信した場合、検索情報を取得するためのデータに従って当該情報検索サーバーとの間で通信を行ってこれから当該検索情報を取得し、前記検索エンジンの検索した提供情報を前記情報検索装置に送信し、

前記検索エンジンが、提供情報を指定するためのデータと前記提供情報送出手段が取得した検索情報とを用いて前記提供情報データベースを検索することを特徴とする請求項 1 6 乃至請求項 1 8 のいずれかに記載の情報検索システム。

【請求項 2 0】 前記網はインターネットであり、前記情報検索サーバーは検索情報としての所定の情報を参照させる WWW サーバーであり、

前記情報提供サーバーは提供情報としての広告情報を送る WWW サーバーであることを特徴とする請求項 1 6 乃至請求項 1 9 のいずれかに記載の情報検索システム。

【請求項 2 1】 検索情報としての所定の情報を参照させる情報検索サーバーと、提供情報としての広告情報を提供する情報提供サーバーと、前記情報検索装置に対して前記情報提供サーバーに代わって提供情報としての広告情報を送信する広告代理店サーバーと、これらと網を介して接続されている情報検索装置とからなり、

前記情報検索装置に対して検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記情報検索装置が当該検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、提供情報を取得するためのデータにより予め定められた前記広告代理店サーバーから当該提供情報を取得し、当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込みこれを前記入出力手段により表示出力することを特徴とする情報検索システム。

【請求項 2 2】 前記情報検索装置が、前記広告代理店サーバーからの当該提供情報を取得に際して、検索情報を取得するためのデータを付加した当該提供情報の提供依頼を前記広告代理店サーバーに送り、

前記広告代理店サーバーが、検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を

10

20

30

40

50

を取得し、この検索情報と提供情報を取得するためのデータとに基づく提供情報を前記情報検索装置に送信することを特徴とする請求項 2 1 に記載の情報検索システム。

【請求項 2 3】 前記広告代理店サーバーが、前記網を介して、前記情報提供サーバーから当該情報提供サーバーの提供する提供情報としての広告情報を予め取得することを特徴とする請求項 2 2 に記載の情報検索システム。

【請求項 2 4】 前記網はインターネットであり、前記情報検索サーバーは検索情報としての所定の情報を参照させる WWW サーバーであり、前記情報提供サーバーは提供情報としての広告情報を提供する WWW サーバーであり、前記広告代理店サーバーは提供情報としての広告情報を送出する WWW サーバーであることを特徴とする請求項 2 1 乃至請求項 2 4 のいずれかに記載の情報検索システム。

【請求項 2 5】 検索情報としての所定の情報を参照させる WWW サーバーである情報検索サーバーと、提供情報としての広告情報を送る WWW サーバーである情報提供サーバーと、これらとインターネットを介して接続されている WWW ブラウザである情報検索装置とからなり、

前記情報検索装置が検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得する WWW ブラウザ機能と、提供情報を取得するためのデータに従って前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得し当該取得した検索情報に当該取得した提供情報である広告情報を組み込みこれを表示出力する広告機能とを備え、

前記情報検索装置に対して検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記情報検索装置が、この入力に応じて前記 WWW ブラウザ機能により前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、検索情報を取得するためのデータの入力を契機として前記広告機能により前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得してこれを当該取得した検索情報に組み込んで表示出力することを特徴とする情報検索システム。

【請求項 2 6】 前記 WWW ブラウザ機能が、検索情報を取得するためのデータを入力すると共に取得した検索情報を表示出力するための入出力手段と、前記入出力手段から入力された検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーとの間で通信を行ってこれから当該検索情報を取得する検索情報取得手段とを備え、前記広告機能が、提供情報を取得するためのデータを入力すると共に取得した提供情報を表示出力するための入出力手段と、前記入出力手段から入力された提供情報を取得するためのデータに従って前記情報提供サーバーとの間で通信を行ってこれから当該提供情報を取得する提

供情報取得手段と、前記検索情報取得手段によって取得した検索情報に前記提供情報取得手段によって取得した提供情報を組み込む情報変換手段とを備え、

前記入出力手段から検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、前記検索情報取得手段が当該検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、前記提供情報取得手段が提供情報を取得するためのデータにより予め定められた前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得し、前記情報変換手段が当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込み、これを前記入出力手段が表示出力することを特徴とする請求項 2 5 に記載の情報検索システム。

【請求項 2 7】 前記情報検索装置の前記広告機能が、前記情報提供サーバーから当該提供情報を取得するに際して、前記 WWW ブラウザ機能から送られた検索情報を取得するためのデータを前記情報提供サーバーに送り、前記情報提供サーバーが、検索情報を取得するためのデータに従って前記情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、この検索情報と提供情報を取得するためのデータとに基づく提供情報を前記情報検索装置に送信することを特徴とする請求項 2 5 又は請求項 2 6 に記載の情報検索システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報検索装置及びこれを用いた情報検索システムに関し、特に、情報検索サーバーから検索情報を取得する場合に、自動的に情報提供サーバーから広告情報の如き提供情報を取得し検索情報に組み込む機能を備える情報検索装置及びこれを用いた情報検索システムに関する。

【0002】

【従来の技術】コンピュータネットワーク及び通信技術の発達により、現在では、世界中に分散して存在する情報サーバーから自由に情報を検索できる。代表的な情報検索システムとして、インターネット上で普及している WWW (World Wide Web) がある。WWW の情報検索装置 (情報検索ブラウザ) としては、Mosaic や Netscape が有名である。

【0003】ところで、現在、インターネットで発信される情報の利用は無料であるが、将来、有用な情報の提供は有料になると考えられる。この場合、現在の新聞やテレビで用いられている「広告」の仕組みを WWW に取り入れることが考えられる。即ち、現在の新聞等では、広告を掲載して広告主から対価を受け取り、これを発行経費の一部に充当することで新聞等の価格を下げていく。そこで、この広告の仕組みを WWW に取り入れることにより、有料情報の価格を下げる可以考虑される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上述のようにWWWに
広告の仕組みを取り入れる場合、既存の技術によれば、
以下のような手段が考えられる。即ち、情報サーバーの
各々が参照の対象である情報と共に広告についての情報
を併せ持つ。利用者は欲しい情報を指定してWWWに検
索依頼する。この検索依頼に応じてWWWが当該情報サ
ーバーにアクセスすると、当該情報サーバーは検索結果
に広告を付けて送り返す。これにより、利用者は自分の
欲しい情報と広告とを手にする。

【0005】しかし、このような既存技術による広告の
提供手段によると、広告についての情報を持つ情報サ
ーバーに利用者がアクセスしてこない限り、広告を利用者
に送ることができないと言う問題がある。これは、新聞
等においては全く問題とならないことであるが、WWW
による広告においては重大な問題である。これは新聞等
とインターネットとのメディアとしての性格の相違に依
存する。

【0006】新聞社やテレビ局の数は限られており、か
つ、これらの数に対して十分に大きな数の読者や視聴者
が存在する。従って、たとえ利用者がアクセスしてくる
ことを待ってアクセスの時点で広告を提供しても、十分
に大きな宣伝効果が期待できる。一方、WWWにおける
情報サーバーはインターネット上に無数に存在する。こ
のため、人気のあるごく一部の情報サーバーに多くのア
クセスが集中する傾向にある。このような状況下におい
ては、人気のある情報サーバーを除く他の多くの情報サ
ーバーに対して多数の人がアクセスすることは殆ど期待
できない。従って、これらの他の多くの情報サーバーに
ついては、広告をしても十分な宣伝効果が得られない。

【0007】このように、前述の既存技術による広告の
提供手段によると、場合によっては広告による効果が得
られないこともある。このため、広告主、特に人気のあ
る情報サーバーを除く他の多くの情報サーバーによる広
告の広告主が集まらず、全体としては広告システムが成
立しない恐れがある。従って、前述の既存技術による広
告の提供手段は、WWWによる広告に広く適用すること
はできない。

【0008】また、前述の既存技術による広告の提供手
段によると、広告は無差別に利用者に送られ利用者が欲
しい広告を選択することができないと言う問題がある。こ
れも、新聞等においては全く問題とならないことであ
るが、WWWによる広告においては重大な問題である。
これも新聞等とインターネットとのメディアとしての性
格の相違として捉えることができる。

【0009】新聞等では1回の宣伝につき十分に大きな
数の読者や視聴者が同時に存在する。従って、たとえ一
部の利用者には不要な広告でも、相当数の利用者には有
益な広告が同時に提供されるので、十分に大きな宣伝効
果が期待できる。一方、WWWにおける情報の利用者は
基本的には個人である。即ち、1回のアクセスについて

同時に多数の利用者が存在することはない。このため、
送られた広告がその利用者にとって興味のある広告であ
るとは限らない。従って、宣伝効果が得られないことも予
想される。

【0010】以上の点からも、前述の既存技術による広
告の提供手段によると、場合によっては広告による効果
が得られないこともある。このため、広告主が集まら
ず、広告システムが成立しない恐れがある。従って、前
述の既存技術による広告の提供手段は、WWWによる広
告に広く適用することはできない。

【0011】本発明は、検索情報を取得する場合に自動
的に提供情報を取得し検索情報に組み込む情報検索装置
を提供することを目的とする。また、本発明は、情報検
索サーバーから検索情報を取得する場合に、自動的に情
報提供サーバーから広告情報の如き提供情報を取得し検
索情報に組み込む情報検索装置を提供することを目的と
する。

【0012】また、本発明は、検索情報を取得する場合
に自動的に利用者の関心の高いであろう提供情報を取得
し検索情報に組み込む情報検索装置を提供することを目
的とする。

【0013】また、本発明は、情報検索サーバーから検
索情報を取得する場合に、自動的に情報提供サーバーか
ら利用者の関心の高いであろう広告情報の如き提供情
報を取得し検索情報に組み込む情報検索装置を提供する
ことを目的とする。

【0014】また、本発明は、検索情報を取得する場合
に自動的に提供情報を取得する情報検索装置を用いて、
広告情報の如き提供情報を検索情報に組み込んで表示出
力する情報検索システムを提供することを目的とする。

【0015】また、本発明は、インターネットにおける
WWWサーバーである情報検索サーバーから検索情報を
取得する場合に、自動的にWWWサーバーである情報提
供サーバーから広告情報の如き提供情報を取得し検索情
報に組み込む情報検索装置及び情報検索システムを提供
することを目的とする。

【0016】また、本発明は、検索情報を取得する場合
に自動的に提供情報を取得する情報検索装置と、当該検
索情報に基づいて利用者の関心の高いであろう提供情報
を提供する情報検索装置とを用いて、利用者の関心の高
いであろう広告情報の如き提供情報を検索情報に組み込
んで表示出力する情報検索システムを提供することを目
的とする。

【0017】また、本発明は、インターネットにおける
WWWサーバーである情報検索サーバーから検索情報を
取得する場合に、自動的に当該情報検索サーバーから検
索情報を取得しこれに基づいて提供情報を提供するWW
Wサーバーである情報提供サーバーから利用者の関心の
高いであろう広告情報の如き提供情報を自動的に取得し
検索情報に組み込む情報検索装置及び情報検索システム

を提供することを目的とする。

【 0 0 1 8 】

【課題を解決するための手段】図 1 は本発明の原理構成図であり、本発明による情報検索装置を示す。図 1 において、情報検索装置 1 0 0 は入出力手段 1 と情報変換手段 2 と検索情報取得手段 3 と提供情報取得手段 4 とを備える。

【 0 0 1 9 】入出力手段 1 は、検索情報及び提供情報を取得するためのデータを入力すると共に、取得した検索情報及び提供情報を表示出力する。検索情報取得手段 3 は、入出力手段 1 から入力された検索情報を取得するためのデータに従って、情報検索装置 1 0 0 の外部の情報検索サーバーとの間で通信を行って情報検索サーバーから当該検索情報を取得する。提供情報取得手段 4 は、入出力手段 1 から入力された提供情報を取得するためのデータに従って、情報検索装置 1 0 0 の外部の情報提供サーバーとの間で通信を行って情報提供サーバーから当該提供情報を取得する。情報変換手段 2 は、検索情報取得手段 3 によって取得した検索情報に、提供情報取得手段 4 によって取得した提供情報を組み込む。

【 0 0 2 0 】情報検索装置 1 0 0 において、入出力手段 1 から検索情報を取得するためのデータが入力された場合に、これに応じて検索情報取得手段 3 が当該検索情報を取得するためのデータに従って情報検索サーバーから当該検索情報を取得し、また、この入力を契機として提供情報取得手段 4 がこの入力に先立って予め入力された提供情報を取得するためのデータにより予め定められた情報提供サーバーから当該提供情報を取得し、情報変換手段 2 が当該取得した検索情報に当該取得した提供情報を組み込み、これを入出力手段 1 が表示出力する。

【 0 0 2 1 】情報検索装置 1 0 0 によれば、情報の検索は以下のように行われる。まず、利用者が、入出力手段 1 を介して、予め自分にとって有益と思われる提供情報（例えば、パーソナルコンピュータの広告情報）を指定しておく。これは提供情報を取得するためのデータとして入力される。このデータは提供情報取得手段 4 に保持される。次に、利用者が、入出力手段 1 を介して、所望の検索情報（例えば、特定事項に関する新聞記事）を取得するためのデータを入力する。これに応じて、情報検索装置 1 0 0 は、検索情報取得手段 3 により情報検索サーバーから検索情報を取得すると共に、自動的に提供情報取得手段 4 により情報提供サーバーから広告情報の如き提供情報を取得し、これを情報変換手段 2 により取得した検索情報に組み込んで表示出力する。

【 0 0 2 2 】この結果、情報検索装置 1 0 0 によれば、利用者が所望の検索情報を取得するためのデータを入力した場合、検索情報を取得すると共に自動的に提供情報を取得し、これを取得した検索情報に組み込んで表示出力することができる。更に、情報検索装置 1 0 0 によれば、予め情報提供サーバー及び提供情報を指定すること

により、利用者にとって有益な広告情報の如き提供情報を出力することができる。

【 0 0 2 3 】従って、情報検索装置 1 0 0 を用いた情報検索システムにおいては、情報検索サーバーの各々が検索情報の他に広告情報の如き提供情報を持つ必要がない。即ち、処理を基本的にサーバー側で完結させる必要がなく、情報検索装置 1 0 0 側（クライアント側）で利用者の希望に応じた処理を行うことができる。これにより、利用者がある特定の情報検索サーバーにアクセスしてこなくても、広告情報を利用者へ送ることができる。しかも、この広告情報は、利用者が予め選択したものであるから、利用者にとって有益なものである。このように、本発明によると、どの情報検索サーバーにアクセスがあったかとは無関係に、広告の効果が得られる。このため、ある特定の情報検索サーバーにアクセスが集中するとしても、広告による効果が得られる。

【 0 0 2 4 】これにより、情報検索装置 1 0 0 は WWW における広告に広く適用することができる。即ち、WWW において、人気のあるごく一部の情報検索サーバーに多くのアクセスが集中して人気のある情報検索サーバーを除く他の多くの情報検索サーバーに対して少数のアクセスしかない場合でも、十分な宣伝効果が得られるので、十分に多くの広告主を集めることができる。また、WWW において、情報の利用者は個人であり 1 回のアクセスについて同時に多数の利用者が存在することはないが、前記広告情報は利用者が予め選択したものであるから、送られた広告がその利用者にとって興味のある広告情報であることが殆どである。従って、十分な宣伝効果が得られる。従って、本発明によれば、インターネットで発信される有用な情報の提供を有料として、「広告」の仕組みを WWW に取り入れ、有料情報の価格を下げるることができる。

【 0 0 2 5 】

【発明の実施の形態】図 2 は実施例構成図であり、情報検索装置 1 0 0 を示す。この情報検索装置 1 0 0 は、入出力手段 1 と情報変換手段 2 と検索情報取得手段 3 と提供情報取得手段 4 と提供情報利用履歴管理手段 5 とを備える。

【 0 0 2 6 】この実施例は、本発明の情報検索装置 1 0 0 をインターネット上の WWW に適用した例であり、提供情報として広告情報が取得され検索情報に組み込まれる例を示す。即ち、WWW における広告システムの一例を示す。情報検索装置 1 0 0 は、それ自体が独立した 1 個のデータ処理装置であって、図 3 に示すようにインターネットのような統合的なコンピュータネットワークに接続される。

【 0 0 2 7 】図 3 は実施例説明図であり、インターネット上の WWW に本発明を適用した広告システム及び情報検索システムを示す。図 3 に示すように、情報検索装置 1 0 0 は、インターネット 1 0 3 を介して情報検索サー

バー 1 0 1 及び情報提供サーバー 1 0 2 に接続され、これらとの間で通信を行う。情報検索装置 1 0 0 は WWW における情報検索ブラウザ (WWW ブラウザ) であり、情報検索サーバー 1 0 1 及び情報提供サーバー 1 0 2 は WWW におけるサーバー (WWW サーバー) である。

【 0 0 2 8 】 WWW ブラウザである情報検索装置 1 0 0 は、参照を所望する情報を管理する WWW サーバーである情報検索サーバー 1 0 1 に対して、当該情報を指定して情報の検索を依頼し、該当する情報を取得する。以下、この情報を検索情報という。この明細書において、検索情報とは利用者が本来当該情報検索装置 1 0 0 の外部から取得 (参照) を希望していた第 1 義的な情報である。

【 0 0 2 9 】 情報検索サーバー 1 0 1 においては、発信者が作成し外部からの参照を許す情報 (検索情報) が管理されている。検索情報は、現在のインターネットにおいては無料であるが、将来有料となる可能性を考えて、本実施例では有料であるものとする。なお、当該情報は、利用者が例えば情報検索サーバー 1 0 1 のホームページを参照して指定する。

【 0 0 3 0 】 検索情報の取得と共に、情報検索装置 1 0 0 は、予め利用者によって指定された WWW サーバーである情報提供サーバー 1 0 2 に対して、予め利用者によって指定された情報の検索を自動的に依頼して、該当する情報を取得する。以下、この情報を提供情報という。この明細書において、提供情報とは、検索情報とは異なる種類の情報であり、利用者が本来取得を希望していた情報 (検索情報) に付加される第 2 義的な情報であり、当該情報検索装置 1 0 0 の外部から取得された情報であって検索情報以外の情報である。

【 0 0 3 1 】 従って、提供情報の取得は検索情報の取得の都度に自動的に行われる。この実施例においては、提供情報は広告情報からなる。広告情報とは例えば広告主が販売する商品やサービスについての宣伝の情報である。情報提供サーバー 1 0 2 においては、広告主が宣伝したいと考える広告情報の如き提供情報が管理されている。提供情報は当然に外部からの参照を許す。なお、広告代理店サーバー 1 0 2 A については後述する。

【 0 0 3 2 】 図 3 に示すように、情報検索装置 1 0 0 は広告機能 1 0 4 を備える。広告機能 1 0 4 は、主として、入出力手段 1 (特に、後述する提供条件入力手段 1 2 及び情報表示手段 1 3)、提供情報取得手段 4、情報変換手段 2 により実現される。広告機能 1 0 4 は取得した検索情報に取得した提供情報を組み込んで出力する。即ち、本来的な情報に広告を「折り込んで」出力する。従って、情報検索装置 1 0 0 は広告機能 1 0 4 を付加した WWW ブラウザであるということが出来る。

【 0 0 3 3 】 利用者は、情報検索装置 1 0 0 からある情報を指定してその取得を行った場合、その出力として、その情報 (検索情報) と提供情報とを得る。これによ

り、広告主にとっては広告による宣伝効果が期待できる。そこで、広告主が、利用者の使用したネットワークの課金や有料化された検索情報の参照料等 (以下、これらを情報料という) の一部又は全部を負担することにより、情報料を軽減することができる。

【 0 0 3 4 】 情報検索装置 1 0 0 は、前述のように、独立した 1 個のデータ処理装置であって、図示することはないが、CPU、メモリ、メモリ上のプログラム、入出力装置、通信装置等からなる。入出力手段 1 は入出力装置及びその制御プログラム等からなる。情報変換手段 2 は CPU、メモリ、メモリ上の情報変換プログラム等からなる。検索情報取得手段 3、提供情報取得手段 4 及び提供情報利用履歴管理手段 5 は、CPU、メモリ、メモリ上の検索情報取得プログラム、提供情報取得プログラム及び提供情報履歴管理プログラム、外部との通信のための通信装置等からなる。

【 0 0 3 5 】 図 2 において、入出力手段 1 は検索条件入力手段 1 1 と提供条件入力手段 1 2 と情報表示手段 1 3 とからなる。検索条件入力手段 1 1 は、利用者が検索依頼及び検索情報を取得するためのデータを入力するためのものであり、例えばマウス等のポインティングデバイスからなる。

【 0 0 3 6 】 検索情報を取得するためのデータは、情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータ及び検索情報を指定するデータからなる。インターネット上の WWW において、利用者は、例えば情報検索サーバー 1 0 1 のホームページを情報表示手段 1 3 上に画面表示させて、所望の情報をマウス等でクリックする。これにより、検索情報を取得するためのデータが、情報表示手段 1 3 に表示出力されている情報の一部 (マウスでクリックされた部分) が複写されて、検索条件入力手段 1 1 に入力される。なお、周知のように、検索情報を取得するためのデータが情報表示手段 1 3 上に画面表示されているのではなく、当該データに対応する情報が表示されているのみである。検索条件入力手段 1 1 は入力された検索依頼及び当該データを検索情報取得手段 3 へ送る。

【 0 0 3 7 】 なお、検索条件入力手段 1 1 はキーボード等のテキスト入力デバイスであってもよい。この場合、利用者はキーボード等を用いて前記データを直接にテキスト入力することにより、検索条件入力手段 1 1 に入力する。

【 0 0 3 8 】 提供条件入力手段 1 2 は、提供情報を取得するためのデータを利用者が入力するためのものであり、例えばマウス等のポインティングデバイスからなる。なお、提供条件入力手段 1 2 は、ハードウェアとしては検索条件入力手段 1 1 と同一のものであり、従って、キーボード等のテキスト入力デバイスであってもよい。

【 0 0 3 9 】 提供情報を取得するためのデータは、情報提供サーバー 1 0 2 を指定するデータ及び提供情報を指

定するデータからなる。提供情報を取得するためのデータのは、検索情報を取得するためのデータのに先立って行われる。これにより、検索情報の取得の都度に自動的に提供情報を取得することができる。ここで、提供情報を取得するためのデータのは、例えば以下のように行われる。利用者は、図 3 に示す広告代理店サーバー 1 0 2 A のホームページを経て提供情報に関するページを情報表示手段 1 3 上に画面表示させる。そして、利用者は、所望の提供情報（例えばある会社のパーソナルコンピュータの新製品の情報）をマウス等でクリックする。これにより、提供情報を取得するためのデータが情報表示手段 1 3 上の画面（への表示用のメモリ）から複写されて提供条件入力手段 1 2 に入力される。提供条件入力手段 1 2 は入力された当該データを提供情報取得手段 4 に送る。利用者は検索情報を取得する毎に、例えば最新のパーソナルコンピュータの発売状況を知ることができる。これは、利用者にとって興味のある情報であり、広告主にとっても宣伝効果を期待できる点で有益である。

【 0 0 4 0 】 このために、図 3 に示す広告代理店サーバー 1 0 2 A は、その提供情報に関するページとして提供情報（広告情報）の一覧や情報料の割引率等を表示したものを作成して、これを情報検索装置 1 0 0 に提供する。インターネット上の WWW において、広告代理店サーバー 1 0 2 A 及び情報検索サーバー 1 0 1 のホームページは同等に扱われ区別されない。

【 0 0 4 1 】 このように本実施例の広告システムにおいては、情報提供サーバー 1 0 2 の他に広告代理店サーバー 1 0 2 A が存在する。広告代理店サーバー 1 0 2 A は、広告情報である提供情報を利用者に送りたい情報提供サーバー 1 0 2 の代理となるものである。広告代理店サーバー 1 0 2 A は、複数存在し、各々が自己の契約する広告主（情報提供サーバー 1 0 2）の提供する提供情報に関するページを作成して、これを情報検索装置 1 0 0 に提供する。なお、情報提供サーバー 1 0 2 が広告代理店サーバー 1 0 2 A の機能を果たしてもよく、また、いわゆるプロバイダが広告代理店サーバー 1 0 2 A の機能を果たしてもよい。

【 0 0 4 2 】 本実施例の広告システムにおいて、利用者は自分の情報検索装置 1 0 0 から広告代理店サーバー 1 0 2 A にアクセスして広告代理店と契約を結ぶ。この契約は、利用者の画面に当該広告代理店と契約した特定の広告主の広告情報を表示させる代わりに、利用者の負担すべき情報料を広告代理店が負担すると言うものである。一方、広告主は自分の情報提供サーバー 1 0 2 から広告代理店サーバー 1 0 2 A にアクセスして広告代理店と契約を結ぶ。この契約は、利用者の画面に当該広告主の広告情報を表示させる業務を代行させる代わりに、広告主が一定の料金を広告代理店に支払うと言うものである。従って、利用者の負担すべき情報料は、直接には広

告代理店が負担するが、結果的には広告主が支払うことになる。

【 0 0 4 3 】 広告代理店サーバー 1 0 2 A を介在させることにより、利用者は、広告主と個別に契約をする煩わしさを避けて、情報料の負担を受けることができる。利用者は、複数の広告代理店サーバー 1 0 2 A と契約することができる。これにより提供情報の選択の幅を広げることができる。一方、広告代理店サーバー 1 0 2 A を介在させることにより、広告主は、多数の利用者と個別に契約をする煩わしさを避けて、提供情報を提供することができ、また、より多数の利用者と契約するために、魅力のあるホームページを作成したり別に宣伝活動をしたりする手間を省略できる。広告主は、後述する提供情報の利用履歴等に基づいて、複数の広告代理店サーバー 1 0 2 A と契約し、または契約を破棄することができ、これにより自己の提供情報の利用を促進することができる。

【 0 0 4 4 】 図 2 において、情報表示手段 1 3 は、情報検索サーバー 1 0 1 のホームページ、広告代理店サーバー 1 0 2 A の提供情報に関するページ、取得した検索情報及び提供情報等を利用者に対して表示出力するものであり、例えば CRT 等の表示装置からなる。情報表示手段 1 3 は表示すべき情報を主として情報変換手段 2 から受け取る。

【 0 0 4 5 】 検索情報取得手段 3 は情報検索サーバー指定手段 3 1 と検索情報指定手段 3 2 と情報検索サーバー通信手段 3 3 と検索情報保管手段 3 4 とからなる。検索情報取得手段 3 が検索依頼を入出力手段 1 の検索条件入力手段 1 1 から受け取ると、情報検索サーバー指定手段 3 1 は情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータを格納する。情報検索サーバー指定手段 3 1 は、情報検索サーバー通信手段 3 3 に対して、その格納するデータに従って情報検索サーバー 1 0 1 を指定する。この指定に応じた情報検索サーバー通信手段 3 3 による通信の後、情報検索サーバー指定手段 3 1 の内容はリセットされる。

【 0 0 4 6 】 検索情報取得手段 3 が検索依頼を入出力手段 1 の検索条件入力手段 1 1 から受け取ると、検索情報指定手段 3 2 は検索情報を指定するデータを格納する。検索情報指定手段 3 2 は、情報検索サーバー通信手段 3 3 に対して、その格納するデータに従って検索すべき情報を指定する。この指定に応じた情報検索サーバー通信手段 3 3 による通信の後、検索情報指定手段 3 2 の内容はリセットされる。

【 0 0 4 7 】 前記 2 個のデータの格納を終了すると、検索情報取得手段 3 の制御の下で、情報検索サーバー通信手段 3 3 は情報検索サーバー指定手段 3 1 の指定に従って当該情報検索サーバー 1 0 1 との間で通信を行う。そして、情報検索サーバー通信手段 3 3 は、検索情報指定手段 3 2 の指定に従って当該情報検索サーバー 1 0 1 に当該情報の検索を依頼し、当該検索情報を取得する。情

報検索サーバー通信手段 3 3 は取得した検索情報を検索情報保管手段 3 4 に格納する。検索情報保管手段 3 4 はメモリからなる。

【 0 0 4 8 】 この応答（検索情報の取得）は、情報検索装置 1 0 0 への利用者による検索依頼の入力があって始めて、これに応じて行われる。即ち、この応答の契機となる検索依頼は情報検索装置 1 0 0 に利用者から入力されたものである。また、通信の相手である情報検索サーバー 1 0 1 は通常通信の度に異なり、取得される検索情報 1 0 6 の内容も通常通信の度に異なる。即ち、通信の相手及び取得される検索情報の内容は、検索依頼においてその都度指定される性質のものである。

【 0 0 4 9 】 この応答は、利用者にとっては、通常のインターネット上の WWW における検索依頼によって行われるものである。従って、利用者は提供情報を受けることについて何ら意識する必要がなく、検索依頼においても何ら負担がない。

【 0 0 5 0 】 提供情報取得手段 4 は情報提供サーバー指定手段 4 1 と提供情報指定手段 4 2 と情報提供サーバー通信手段 4 3 と提供情報保管手段 4 4 とからなる。提供情報取得手段 4 が前記データを入出力手段 1 の提供条件入力手段 1 2 から受け取ると、情報提供サーバー指定手段 4 1 は前記データの内の情報提供サーバー 1 0 2 を指定するデータを格納する。このデータは、新たに次の情報提供サーバー 1 0 2 を指定するデータ（次データ）が入力されるまで情報提供サーバー指定手段 4 1 に保持され、次データの入力により更新される。情報提供サーバー指定手段 4 1 は、情報提供サーバー通信手段 4 3 に対して、その格納するデータに従って情報提供サーバー 1 0 2 を指定する。

【 0 0 5 1 】 提供情報取得手段 4 が前記データを入出力手段 1 の提供条件入力手段 1 2 から受け取ると、提供情報指定手段 4 2 は前記データの内の提供情報を指定するデータを格納する。このデータは、新たに次の提供情報を指定するデータ（次データ）が入力されるまで提供情報指定手段 4 2 に保持され、次データの入力により更新される。提供情報指定手段 4 2 は、情報提供サーバー通信手段 4 3 に対して、その格納するデータに従って取得すべき情報を指定する。

【 0 0 5 2 】 提供情報取得手段 4 の制御の下で、情報提供サーバー通信手段 4 3 は情報提供サーバー指定手段 4 1 の指定に従って当該情報提供サーバー 1 0 2 との間で通信を行う。そして、情報提供サーバー通信手段 4 3 は、提供情報指定手段 4 2 の指定に従って当該情報提供サーバー 1 0 2 に当該情報の検索を依頼し、当該提供情報を取得する。情報提供サーバー通信手段 4 3 は取得した提供情報を提供情報保管手段 4 4 に格納する。提供情報保管手段 4 4 はメモリからなる。

【 0 0 5 3 】 この応答（提供情報の取得）における特徴は、この応答が情報検索装置 1 0 0 への利用者による検

索依頼の入力に応じて自動的に行われることにある。即ち、この応答の契機となる情報提供サーバー 1 0 2 への検索依頼は、情報検索装置 1 0 0 に利用者から入力されたものではなく、提供情報取得手段 4 によって自動的に発行されるものである。また、通信の相手である情報提供サーバー 1 0 2 は予め定められたものであり、取得される提供情報の内容も予め定められたものである。即ち、通信の相手及び取得される提供情報の内容は、利用者の意思に基づいて予め定められる性質のものである。

10 【 0 0 5 4 】 この様な応答を自動的に行うために、提供情報取得手段 4 に対して、入出力手段 1 又は検索情報取得手段 3 が利用者の検索依頼に基づく検索情報の取得を行うこと又は行ったことを通知する。例えば、入出力手段 1 は利用者による検索依頼の入力があったことを通知し、又は、検索情報取得手段 3 は情報検索サーバー 1 0 1 をアクセスして検索情報の取得を行うこと又は行ったことを通知する。この通知を受けた提供情報取得手段 4 の制御の下で、情報提供サーバー通信手段 4 3 が情報提供サーバー 1 0 2 との間で通信を行う。

20 【 0 0 5 5 】 情報提供サーバー 1 0 2 を指定するデータ及び提供情報を指定するデータ、即ち、情報提供サーバー指定手段 4 1 と提供情報指定手段 4 2 の内容は、随時（利用者の任意の時点で）更新することが可能である。利用者は、随時、広告代理店サーバー 1 0 2 A 2 の提供情報に関するページを情報表示手段 1 3 上に画面表示させて、所望の提供情報をマウス等でクリックする。これにより、提供情報を取得するためのデータが更新される。

30 【 0 0 5 6 】 利用者は、ある提供情報、例えば最新のパーソナルコンピュータの発売状況を知った後、これが自分にとって不満足な情報であれば、他の情報提供サーバー 1 0 2 の同種類の提供情報を指定するように、前記データを更新する。また、利用者は、ある提供情報、例えばパーソナルコンピュータの情報を知った後、自分にとって他の興味のある提供情報、例えば自動車についての提供情報を指定するように、前記データを更新する。更に、利用者は、他の広告代理店サーバー 1 0 2 A と契約を結び、これを介して他の情報提供サーバー 1 0 2 の同種類の提供情報を指定するように、前記データを更新する。

40 【 0 0 5 7 】 これは、提供情報の選択の権利が利用者にあることを示す。これは、利用者にとって極めて有利であり、提供情報（広告情報）の利用率を高めるのに寄与する。一方、このことは、複数の情報提供サーバー 1 0 2 及び広告代理店サーバー 1 0 2 A の間での競争を促す。即ち、情報提供サーバー 1 0 2 及び広告代理店サーバー 1 0 2 A は、自己の管理する提供情報（広告情報）の利用率を高める努力を要求される。これは、提供情報の信頼性、正確度、料金の割引率等を高めるのに寄与する。

【 0 0 5 8 】なお、情報検索サーバー通信手段 3 3 と情報提供サーバー通信手段 4 3 とは同一の通信装置からなる。更に、後述の提供情報利用履歴通信手段 5 2 も同一の通信装置からなる。例えば、検索情報取得手段 3 を構成するメモリ上のプログラムが、メモリの所定領域である情報検索サーバー指定手段 3 1 及び検索情報指定手段 3 2 に格納された値を用いて、情報検索サーバー通信手段 3 3 である通信装置に所定の通信を行わせる。他にも同様である。本実施例においては、検索情報取得手段 3 がその通信装置を使用して検索情報を取得した後に、これに連続して提供情報取得手段 4 がその通信装置を使用して組み込むべき提供情報を取得する。

【 0 0 5 9 】情報変換手段 2 は検索情報保管手段 3 4 に格納された検索情報に提供情報保管手段 4 4 に格納された提供情報を組み込む。具体的には、情報変換手段 2 は、提供情報保管手段 4 4 に提供情報が格納された後、まず、この提供情報を読み出し、所定のメモリ上に展開する。次に、検索情報保管手段 3 4 に格納された検索情報を読み出し、前記所定のメモリ上において提供情報の展開領域に続く領域に展開する。これにより、検索情報の前の位置に提供情報（広告情報）を組み込む。情報変換手段 2 は、この組み込み処理後の情報（これを、変更後の情報という）を、検索条件入力手段 1 1 からの検索依頼の入力に対する応答として情報表示手段 1 3 に送る。

【 0 0 6 0 】なお、検索情報に対して提供情報を組み込む位置は、検索情報の前に限られず、検索情報の後又は中間であってもよい。また、提供情報は何らかの形式で検索情報に関係付けられ情報表示手段 1 3 に必ず表示出力されるようにされていればよく、その組み込みの形式は種々変更できる。

【 0 0 6 1 】情報変換手段 2 からの変更後の情報を受けた情報表示手段 1 3 は、これを自己の有する表示用メモリに格納すると共に、利用者の検索依頼に対する応答として表示出力する。これにより、利用者は、本来参照を所望していた情報である検索情報を得ると共に、自分が予め興味があるものとして指定した提供情報（広告情報）を得る。

【 0 0 6 2 】以上のように、主として、入出力手段 1、提供情報取得手段 4 及び情報変換手段 2 により、検索情報検索装置の検索依頼があった場合に、自動的に提供情報を取得してこれを検索情報に付加して出力する機能（広告機能 1 0 4）が実現される。この広告機能 1 0 4 をより優れたものとするために、本実施例においては、提供情報利用履歴管理手段 5 が設けられる。提供情報利用履歴管理手段 5 は提供情報利用履歴記録手段 5 1 と提供情報利用履歴通信手段 5 2 とを備える。

【 0 0 6 3 】提供情報利用履歴記録手段 5 1 は提供情報に対する利用者の実際の利用の履歴を記録する。即ち、提供情報利用履歴記録手段 5 1 は、検索条件入力手段 1

1 から検索情報を取得するためのデータが提供情報を利用（複写）したものである場合、利用の履歴を自己の持つメモリに記録する。

【 0 0 6 4 】記録すべき利用の履歴は、例えば利用対象、利用者、利用時、利用程度である。利用対象は検索条件入力手段 1 1 内に当該複写されたデータである。即ち、情報提供サーバー 1 0 2 の名前及び提供情報の内容である。利用者はその利用者の名前又は情報検索装置 1 0 0 の名前である。利用時はその利用の年月日及び時刻である。利用程度は利用回数等である。特に、提供情報が広告情報である場合、利用した提供情報からその広告に掲載された製品の購入に到ったかも利用程度として記録される。

【 0 0 6 5 】この記録のために、提供情報利用履歴記録手段 5 1 は当該データが提供情報を利用したものか否かを調べる。具体的には、情報表示手段 1 3 に表示された提供情報において、所定の位置（情報）を、利用者がマウス等でクリックすることにより、提供情報のより具体的かつ詳細な情報（以下、これを詳細情報という）を取得するためのデータが入力されるようにされる。利用者は、提供情報の内で特に興味の有る情報について、別途提供情報サーバー 1 0 2 へのアクセスを行うことなく、詳細な内容を知ることができる。例えば、提供情報がある会社のパーソナルコンピュータの新製品の情報である場合において、気にいった特定機種 of の具体的な仕様や外観等を詳細情報として取得できる。これは、利用者にとって極めて便利であり、広告主にとっても宣伝効果を向上できる点で有益である。

【 0 0 6 6 】このような場合、提供情報の詳細情報を取得するためのデータは、提供情報を利用（複写）して得たものである。即ち、提供情報を情報表示手段 1 3 に表示するために表示用メモリにあるデータを、検索条件入力手段 1 1 に複写して得たものである。

【 0 0 6 7 】従って、提供情報の詳細情報を取得するためのデータは、検索条件入力手段 1 1 に入力される。検索条件入力手段 1 1 は入力された当該データを検索情報取得手段 3 に送る。これにより、前述のようにして、当該提供情報の詳細情報を参照させる WWW サーバーを情報検索サーバー 1 0 1 とする、当該提供情報の詳細情報の取得が行われ、これが表示出力される。

【 0 0 6 8 】検索情報を取得するためのデータが提供情報を利用（複写）して得たものか否かは、当該データと提供情報の詳細情報を取得するためのデータとを比較することにより判別できる。当該データは検索条件入力手段 1 1 に入力されている。一方、提供情報の詳細情報を取得するためのデータは情報変換手段 2 のメモリに存在する。そこで、両者の比較は情報変換手段 2 が行う。このために、情報変換手段 2 は検索条件入力手段 1 1 から検索情報取得手段 3 に送られる当該データを取り込む。

【 0 0 6 9 】詳細情報の取得が行われた場合、利用者は

10

20

30

40

50

提供情報を見た上でその詳細情報までも見たのであるから、広告主にとって大きな宣伝効果が実際にあったと考えられる。そこで、提供情報利用履歴記録手段 5 1 はこれを記録する。

【0070】本実施例では、この提供情報の詳細情報の表示出力において、提供情報の表示出力は省略される。これは、利用者は既に 1 回提供情報を見ていること、及び、より詳しい情報を見ている利用者にとって再び提供情報を表示されることは煩わしいこと等による。

【0071】そこで、この場合、提供情報取得手段 4 は提供情報の取得を省略する。このために、入出力手段 1 又は検索情報取得手段 3 は、検索情報を取得した旨の提供情報取得手段 4 に対する通知を省略する。これにより、検索情報取得手段 3 が情報提供サーバー 1 0 1 をアクセスして検索情報を取得するのみで、提供情報取得手段 4 による提供情報の取得は行われない。

【0072】提供情報利用履歴通信手段 5 2 は提供情報利用履歴記録手段 5 1 の記録する内容を読み出し又は書き込みする。即ち、情報検索装置 1 0 0 の外部から提供情報利用履歴の読み出し又は書き込み要求があった場合に、提供情報利用履歴通信手段 5 2 が提供情報利用履歴記録手段 5 1 の内容についての読み出し又は書き込みを行う。

【0073】提供情報利用履歴は、前述のように、主として広告主にとって大きな宣伝効果が実際にあったか否かの指標であるから、情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A はこれを参照して、提供情報がより多く利用されるように役立てることができる。

【0074】例えば、読み出した提供情報利用履歴において提供情報の利用回数が一定以上である場合、当該情報検索装置 1 0 0 についての情報料の割引率を更に大きくする等のサービスができる。特に、提供情報が広告情報である場合において、利用者が提供情報の利用により製品を購入している場合も同様である。この場合、広告代理店サーバー 1 0 2 A は広告主から実際の製品購入に結び付いたことによるボーナスを受け取る。このようなサービスの後、提供情報利用履歴における提供情報利用の回数をリセットする。即ち、0 回を提供情報利用履歴記録手段 5 1 に書き込む。また、情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A は、ある一定期間毎に提供情報利用履歴を読み出すことにより、利用者の動向や嗜好を知ることができる。即ち、マーケティングリサーチを行うことができる。

【0075】情報検索装置 1 0 0 における検索情報の取得について更に説明する。図 4 は実施例説明図であり、検索情報の取得の流れを示す。情報検索装置 1 0 0 は、図 3 に示したように広告機能 1 0 4 を備えた WWW ブラウザであるが、図 4 に示すように広告機能 1 0 4 と WWW ブラウザ機能 1 0 5 とを備えた処理装置であるとも言える。広告機能 1 0 4 は、主として、入出力手段 1 (特

に、提供条件入力手段 1 1 及び情報表示手段 1 3)、提供情報取得手段 4 及び情報変換手段 2 からなる。WWW ブラウザ機能 1 0 5 は、主として、入出力手段 1 (特に、検索条件入力手段 1 1 及び情報表示手段 1 3) 及び検索情報取得手段 3 からなる。

【0076】検索情報の取得に先立って、情報検索装置 1 0 0 の広告機能 1 0 4 において、前述のようにして、情報提供サーバー 1 0 2 を指定するデータが情報提供サーバー指定手段 4 1 に、提供情報を指定するデータが提供情報指定手段 4 2 に、各々、指定入力により格納される。

【0077】情報検索装置 1 0 0 の WWW ブラウザ機能 1 0 5 は、前述のようにして、検索依頼において指定された情報検索サーバー 1 0 1 に対して、指定された検索情報についての検索依頼を行う。

【0078】これに応じて、WWW サーバーである情報検索サーバー 1 0 1 は、自己の持つ情報を検索して、情報検索装置 1 0 0 から指定された検索情報 1 0 6 を HTML 文書の形式で情報検索装置 1 0 0 に送る。情報検索装置 1 0 0 は、送られてきた HTML 文書の形式の検索情報 1 0 6 を情報検索サーバー通信手段 3 3 により取り込んで、検索情報保管手段 3 4 に格納する。

【0079】次に、情報検索装置 1 0 0 の広告機能 1 0 4 は、前述のように検索情報の取得の依頼を契機として、情報提供サーバー指定手段 4 1 により指定された情報提供サーバー 1 0 2 に対して、提供情報指定手段 4 2 により指定された提供情報についての検索依頼を行う。

【0080】これに応じて、WWW サーバーである情報提供サーバー 1 0 2 は、自己の持つ情報を検索して、情報検索装置 1 0 0 の広告機能 1 0 4 から指定された提供情報 1 0 7 を HTML 文書の形式で情報検索装置 1 0 0 に送る。情報検索装置 1 0 0 は、送られてきた HTML 文書の形式の検索情報 1 0 7 を情報提供サーバー通信手段 4 3 により取り込んで、提供情報保管手段 4 4 に格納する。

【0081】情報検索装置 1 0 0 の広告機能 1 0 4 は、前述のようにして、提供情報 1 0 7 を検索情報 1 0 6 の前に組み込み変更後の文書 1 0 8 を作成する。この時、広告機能 1 0 4 は、HTML 文書の形式であった提供情報及び検索情報の形式を、当該情報検索装置 1 0 0 における文書の形式に変換する。従って、変更後の文書 1 0 8 は、情報検索装置 1 0 0 における文書形式によるものである。

【0082】情報検索装置 1 0 0 の WWW ブラウザ機能 1 0 5 は、広告機能 1 0 4 から変更後の文書 1 0 8 を受け取る。この変更後の文書 1 0 8 は、HTML 文書の形式から当該情報検索装置 1 0 0 における文書の形式に変換されており、かつ、提供情報及び検索情報を一体としているので、WWW ブラウザ機能 1 0 5 からは変更後の文書 1 0 8 に提供情報が含まれていることは意識されな

い。WWWブラウザ機能105は変更後の文書108を表示出力する。これにより、利用者は広告付きの出力を得る。

【0083】図5は実施例説明図であり、情報表示手段13に表示出力される変更後の文書108の概略について示す。図5(A)に示すように、検索結果である検索情報の前に提供情報である広告情報が組み込まれる。これにより、情報表示手段13の表示画面においては、その先頭に(画面の上部)に提供情報である広告情報が表示される。

【0084】ここで、検索情報106の情報量が元々非常に多い等の理由で、変更後の文書108を1画面に表示できない場合がある。このために、図5(A)に示す情報表示手段13の表示画面が上下にスクロールするようにされる。この処理は例えば入出力手段1が行う。

【0085】一方、提供情報である広告情報が組み込まれていない場合には、図5(B)に示すように、検索情報のみが表示画面に表示される。これは、前述したように、情報検索サーバー101の指定及び検索情報の指定が提供情報を利用して行われた場合に、提供情報を重複して表示することを回避する画面である。

【0086】なお、情報検索サーバー101のホームページ及び情報提供サーバー102の提供情報の関するページは、図5(A)に示すような表示としても図5(B)に示すような表示としてもよい。

【0087】図6は実施例説明図であり、情報表示手段13に表示出力される変更後の文書108の具体例について示す。情報検索サーバー101から取得した検索情報106は、例えば図示のような内容のHTML文書である。これは例えばある日付のある特定事項に関する新聞記事である。情報提供サーバー102から取得した提供情報107は、例えば図示のような内容のHTML文書である。これは例えばある会社のパーソナルコンピュータの新製品についての広告である。

【0088】検索情報106であるHTML文書をそのまま情報表示手段13において表示出力した場合、その画面は通常のページ110のようになる。これは従来の表示出力である。

【0089】これに対して、本発明により検索情報106であるHTML文書の前に提供情報107であるHTML文書を組み込んで表示出力した場合、その画面は変更されたページ(変更後の文書)108のようになる。これは図5(A)に対応する画面である。画面の上部に提供情報107である広告情報が表示され、画面の下部に検索情報106が表示されている。従って、利用者は、自分が検索依頼をした新聞記事と共に、自分が興味があるパーソナルコンピュータについての製品広告を見ることになる。

【0090】ここで、提供情報107においては、図示のように、広告の文章中の「こちら」と「をどうぞ」と

の間に、アンカー「<http://△△△/koukou/○○○○>」が埋め込まれて(挿入されて)いる。ここで、「△△△」は、サーバー名を示し、△△△(会社名)の所有する(複数のサーバーの内の)サーバーであることを示す。また、「koukou/○○○○」は検索指示子であり、(広告)情報の内容を示す。△△△及び○○○○はアルファベット及び英数字等の記号である。

【0091】アンカーは、当該提供情報107である広告を見た利用者が、提供情報の詳細情報を直接その画面からアクセスできるようにするための情報である。このアンカーが情報表示手段13の画面上において指定された場合、当該アンカー「<http://△△△/koukou/○○○○>」が検索条件として当該画面上から複写されて、検索条件入力手段11に送られる。そして、検索条件入力手段11から、各々、「△△△」が情報検索サーバー指定手段31に格納され、「koukou/○○○○」が検索情報指定手段32に格納される。従って、情報検索装置100は、△△△の(広告)サーバーにアクセスして(広告)情報「koukou/○○○○」を取得する。

【0092】アンカーは、図6から判るように、情報提供サーバー102又は広告主によって、提供情報107である広告の本文中の関連した語句「こちら」の直後の位置に、HTML文書形式の提供情報107の段階で、既に埋め込まれている。従って、提供情報保管手段44及び情報表示手段13の表示用メモリにおいて、前記位置に埋め込まれ、格納されている。

【0093】しかし、アンカーは、変更されたページ108に示すように、情報表示手段13の表示出力においては表示されない。即ち、利用者には見えない。このアンカーに代えて、アンカーに関連した語句「こちら」の下部にアンダーライン(アンカーのタグ)が付加される。なお、アンダーラインの付加に代えて、「こちら」の部分のカラー表示を変更してもよい。

【0094】アンカーに関連してアンダーラインが付加された語句「こちら」に、利用者がマウスを位置付けてクリックした場合、アンカーが情報表示手段13の画面上において指定されたことになる。情報表示手段13は、自己の表示用メモリから語句「こちら」の直後の位置にあるアンカーを取り出して、これを検索条件入力手段11に入力する。これにより、アンカーの指定するサーバーへのアンカーの指定する情報の検索依頼が行われる。

【0095】従って、前述のように、提供情報107においてアンカーがマウスでクリックされた場合、当該アンカーの内容が検索条件入力手段11に複写されて入力される。これにより、提供情報の詳細情報が取得される。この場合、提供情報を複写しての検索情報106(内容的には提供情報107である)の取得であるの

で、提供情報である広告情報は取得されない。従って、表示画面は図 5 (B) に示すものとなる。

【0096】この提供情報の詳細情報には、当該詳細情報を見た利用者が、広告主との間でその広告に掲載された製品についての購入契約を結ぶことができるような情報（以下、契約情報という）が含まれる。契約情報の画面は、例えば詳細情報の画面から呼び出すことができるようにされる。即ち、前述と同様に、詳細情報の画面に埋め込まれたアンカーに関連する語句を利用者がマウスをクリックして選択することにより、提供情報サーバー 102 から取得できるようにされる。

【0097】このような提供情報の利用は提供情報利用履歴記録手段 51 に記録される。例えば利用回数は、広告からその詳細情報を取得し詳細情報から契約情報を取得したのであるから、+2 回とされる。更に、広告に掲載された製品についての購入契約を結んだ場合には、これも記録される。

【0098】なお、検索情報 106 においても、提供情報 107 と同様に、更に他の検索情報 106 を参照できるように、アンカーが埋め込まれていてもよい。当該アンカーをマウスでクリックすることにより他の検索情報 106 が取得されるが、この場合、提供情報を複写しての検索情報 106 の取得ではないので、提供情報である広告情報も取得される。従って、表示画面は図 5 (A) に示すものとなる。

【0099】次に、図 2 の情報検索装置による情報検索処理について、図 7 乃至図 11 により説明する。図 7 乃至図 9 は全体として 1 つの情報検索処理フローを構成し、図 2 の情報検索装置 100 が実行する情報検索処理を示す。図 10 は図 8 における検索情報の取得処理についてその詳細を示す。図 11 は図 8 における提供情報の取得処理についてその詳細を示す。

【0100】図 7 乃至図 9 において、入出力手段 1 が、検索条件入力手段 11 から検索依頼すべき情報検索サーバー 101 と検索内容の記述（検索情報）が指定されたか否かを調べる（S1）。

【0101】S1 において前記 2 個のデータが指定されている場合、情報変換手段 2 が、検索条件入力手段 11 から入力された検索すべき情報検索サーバー 101 と検索内容の記述が、情報表示手段 13 に表示されている提供情報の中から複写されているか否かを調べる（S2）。即ち、情報検索サーバー名及び検索すべき情報名が提供情報を利用して指定されたものかを調べる。

【0102】S2 において前記 2 個のデータが複写されていない場合、検索情報取得手段 3 が、検索依頼すべき情報検索サーバー 101 において検索を行わせて、記述された検索内容の検索情報を取得し、これを検索情報保管手段 34 に保管する（S3）。この処理については図 10 により後述する。

【0103】提供情報取得手段 4 が、提供を受ける情報

提供サーバー 102 から提供情報を受け取り、取得した提供情報を提供情報保管手段 44 に保管する（S4）。この処理については図 11 により後述する。

【0104】情報変換手段 2 が、検索情報保管手段 34 に保管された検索情報の前に、提供情報保管手段 44 に保管された提供情報を挿入し、これを情報表示手段 13 が表示出力する（S5）。この後、S9 を実行する。

【0105】一方、S2 において前記 2 個のデータが複写されている場合、提供情報利用履歴記録手段 51 に検索すべき情報検索サーバー 101、検索すべき内容、利用時、利用者を追加記録する（S6）。

【0106】S3 と同様にして、検索情報を取得し、これを検索情報保管手段 34 に保管する（S7）。情報変換手段 2 が、検索情報保管手段 34 に保管された検索情報を情報表示手段 13 に送り、これを情報表示手段 13 が表示出力する（S8）。この後、S9 を実行する。

【0107】S1 において前記 2 個のデータが指定されていない場合、入出力手段 1 が、提供条件入力手段 12 から提供を受ける情報提供サーバー 102 と、提供内容の記述が指定されたか否かを調べる（S9）。

【0108】指定されている場合、提供情報取得手段 4 が、情報を提供している提供検索サーバー名を情報提供サーバー指定手段 41 に格納し（S10）、提供情報名を提供情報指定手段 42 に格納する（S11）。この後、S12 を実行する。

【0109】S9 において前記 2 個のデータが指定されていない場合、提供情報利用履歴管理手段 5 が、外部から提供情報利用履歴記録手段 51 の内容についての読み書き要求があったか否かを調べる（S12）。

【0110】読み書き要求があった場合、提供情報利用履歴管理手段 5 が、提供情報利用履歴通信手段 52 を介して提供情報利用履歴記録手段 51 の内容についての読み出し又は書き込みを行う（S13）。

【0111】S13 の実行後、及び、S12 において読み書き要求がなかった場合、S1 以下の実行を繰り返す。図 10 は検索情報取得処理フローであり、図 8 の S3（及び S7）における検索情報の取得処理について示す。

【0112】検索情報取得手段 3 が、検索条件入力手段 11 から指定された検索すべき情報検索サーバー名を情報検索サーバー指定手段 31 に格納する（S31）。検索情報取得手段 3 が、検索条件入力手段 11 から指定された検索すべき内容の記述を検索情報指定手段 32 に格納する（S32）。

【0113】検索情報取得手段 3 が、情報検索サーバー通信手段 33 を介して、情報検索サーバー指定手段 31 において指定された情報検索サーバー 101 に対して、検索情報指定手段 32 において指定された検索情報についての検索を依頼する（S33）。

【0114】検索情報取得手段 3 が、当該情報検索サー

パー 1 0 1 の処理が終了したか否かを調べる (S 3 4) 。処理が終了しない場合、 S 3 4 を繰り返す。処理が終了した場合、検索情報取得手段 3 が、情報検索サーバー通信手段 3 3 を介して当該情報検索サーバー 1 0 1 から当該検索情報を取得し、検索情報保管手段 3 4 に記録する (S 3 5) 。

【 0 1 1 5 】図 1 1 は提供情報取得処理フローであり、図 8 の S 4 における提供情報の取得処理について示す。この処理に先立って、図 9 (A) に示す S 1 0 及び S 1 1 において、提供条件入力手段 1 2 から指定された情報提供サーバー名が情報提供サーバー指定手段 4 1 に格納され、提供条件入力手段 1 2 から指定された提供情報の内容の記述が提供情報指定手段 4 2 に格納されている。

【 0 1 1 6 】提供情報取得手段 4 が、情報提供サーバー通信手段 4 3 を介して、情報提供サーバー指定手段 4 1 において指定された情報提供サーバー 1 0 2 に対して、提供情報指定手段 4 2 において指定された提供情報についての検索を依頼する (S 4 1) 。

【 0 1 1 7 】提供情報取得手段 4 が、当該情報提供サーバー 1 0 2 の処理が終了したか否かを調べる (S 4 2) 。処理が終了しない場合、 S 4 2 を繰り返す。処理が終了した場合、提供情報取得手段 4 が、情報提供サーバー通信手段 4 3 を介して当該情報提供サーバー 1 0 2 から当該提供情報を取得し、提供情報保管手段 4 4 に記録する (S 4 3) 。

【 0 1 1 8 】なお、図 1 0 に示す検索情報取得処理と図 1 1 に示す提供情報取得処理とは、前述のように逐次的に行っても、又は、並列に行ってもよい。即ち、 S 3 3 の実行後の S 3 4 の実行の間に、 S 4 1 を実行してもよい。

【 0 1 1 9 】以上から、情報検索装置 1 0 0 における検索情報 (変更後の文書 1 0 8) の取得を利用者からみると、以下になる。まず、周知の手順により情報検索装置 1 0 0 から広告代理店サーバー 1 0 2 A にアクセスして、どのような情報提供サーバー 1 0 2 がどのような広告情報 (提供情報 1 0 7) を提供するのかを知り、自分の興味のある情報提供サーバー 1 0 2 及び提供情報を選択する。そして、この情報提供サーバー 1 0 2 及び提供情報を、情報検索装置 1 0 0 において指定する (情報提供サーバー指定手段 4 1 及び提供情報指定手段 4 2 に格納する) と共に、広告代理店サーバー 1 0 2 A に登録する。これにより、提供情報 1 0 7 の表示出力がされることになり、また、検索情報の情報料等の割引きを受けることになる。

【 0 1 2 0 】次に、周知の手順により情報検索装置 1 0 0 から情報検索サーバー 1 0 1 にアクセスして検索情報 1 0 6 を取得する。この時、情報検索装置 1 0 0 は、先に指定された情報提供サーバー 1 0 2 に自動的にアクセスして、先に指定された提供情報 1 0 7 を取得する。そして、情報検索装置 1 0 0 は検索情報 1 0 6 に提供情報

1 0 7 を組み込んで変更されたページ 1 0 8 を表示出力する。

【 0 1 2 1 】変更されたページ 1 0 8 を見た利用者がその内の提供情報の部分からその詳細情報をアクセスした場合、情報検索装置 1 0 0 は、提供情報の複写により指定された情報検索サーバー 1 0 1 (実際は情報提供サーバー 1 0 2) にアクセスして、新たな検索情報 1 0 6

(実際は提供情報 1 0 7 の詳細情報) を取得する。この時、情報検索装置 1 0 0 は、提供情報 1 0 7 の取得を省略して、その重複した表示出力を避ける。

【 0 1 2 2 】一方、変更されたページ 1 0 8 を見た利用者が、その内の検索情報の部分から更に他の検索情報をアクセスした場合、情報検索装置 1 0 0 は、検索情報の複写により指定された新たな情報検索サーバー 1 0 1 にアクセスして、新たな検索情報 1 0 6 を取得する。この時、情報検索装置 1 0 0 は、情報提供サーバー 1 0 2 に自動的にアクセスして提供情報 1 0 7 を取得し、検索情報 1 0 6 に提供情報 1 0 7 を組み込んで変更されたページ 1 0 8 を表示出力する。

【 0 1 2 3 】なお、この時、情報提供サーバー 1 0 2 が情報検索装置 1 0 0 へ提供情報 1 0 7 を送らないようにしてもよい。即ち、アクセスが短時間の内に複数回繰り返されているので、利用者が同一の提供情報を短時間の内に繰り返し見ることになり煩わしい。そこで、これを避けるために、情報提供サーバー 1 0 2 が提供情報 1 0 7 を送らないようする。

【 0 1 2 4 】次に、本発明の他の (第 2 の) 実施例について説明する。この実施例は、前述の (第 1 の) 実施例において、更に、利用者の関心が高いであろう提供情報を的確に選択するようにして、提供の効果を高める例である。この実施例において、提供情報は広告情報からなる。この実施例において、広告サーバーである情報提供サーバー 1 0 2 が、情報検索装置 1 0 0 の利用者が取得しようとしている検索情報を解析して、これに基づいて広告情報を的確に選択して提供する。これにより、利用者の関心が高い情報を提供して、広告の効果を高める。

【 0 1 2 5 】なお、この実施例においては、後述するように、提供情報指定手段 4 2 が格納する提供情報を指定するデータとして、情報検索装置 1 0 0 の利用者の属性情報が用いられる。従って、以下の説明において、提供情報を指定するデータを属性情報とも言う。

【 0 1 2 6 】この実施例においては、WWWブラウザとして図 1 2 に示す情報検索装置 1 0 0 が用いられ、WWWサーバーである情報提供サーバーとして図 1 7 に示す情報提供サーバー 1 0 2 が用いられる。そして、図 1 2 の情報検索装置 1 0 0 からの自動的なアクセスを契機として、図 1 7 の情報提供サーバー 1 0 2 が、図 1 3 及び図 1 4 に示すように、情報検索装置 1 0 0 の利用者が情報検索サーバー 1 0 1 から取得しようとしている検索情報を自動的に取得する。図 1 5 及び図 1 6 は、このよう

な処理を可能にするために、図 1 2 の情報検索装置 1 0 0 が実行する処理フローを示す。図 1 8 乃至図 2 0 は、このような処理を可能にするために、図 1 7 の情報提供サーバー 1 0 2 が実行する処理フローを示す。

【 0 1 2 7 】 図 1 2 は他の実施例構成図であり、図 2 に対応する図であり、情報検索装置 1 0 0 の他の構成例を示す。この情報検索装置 1 0 0 は、図 2 の情報検索装置 1 0 0 において、更に、情報検索サーバー保持手段 4 5 及び検索情報保持手段 4 6 を提供情報取得手段 4 に備える。

【 0 1 2 8 】 情報検索サーバー保持手段 4 5 及び検索情報保持手段 4 6 は、各々、情報検索サーバー指定手段 3 1 及び検索情報所定手段 3 2 が格納するデータと同一のものを格納する。従って、情報検索サーバー保持手段 4 5 は情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータを格納する。検索情報保持手段 4 6 は検索情報を指定するデータを格納する。このために、入出力手段 1 の検索条件入力手段 1 1 は、情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータ及び検索情報を指定するデータを、検索情報取得手段 3 に送ると共に、提供情報取得手段 4 にも送る。提供情報取得手段 4 がこれらのデータを検索条件入力手段 1 1 から受け取ると、情報検索サーバー保持手段 4 5 は前記データの内の情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータを格納し、提供情報保持手段 4 6 は前記データの内の提供情報を指定するデータを格納する。

【 0 1 2 9 】 情報提供サーバー通信手段 4 3 が第 1 の実施例と同様にして指定された情報提供サーバー 1 0 2 との通信を行う場合、情報検索サーバー保持手段 4 5 及び検索情報保持手段 4 6 の保持するデータが、図 1 4 に示すように、提供情報指定手段 4 2 の保持するデータと共に当該情報提供サーバー 1 0 2 に送られる。

【 0 1 3 0 】 これらのデータを受け取った情報提供サーバー 1 0 2 は、図 1 3 に示すように、情報検索サーバー 1 0 1 を指定するデータを用いて、当該情報検索サーバー 1 0 1 との間で通信を行う。そして、情報提供サーバー 1 0 2 は、検索情報を指定するデータを用いて、当該情報検索サーバー 1 0 1 に当該情報の検索を依頼し、当該検索情報を取得する。情報提供サーバー 1 0 2 は、広告情報を的確に選択するため、取得した当該検索情報を解析して、これに基づいて提供情報（特に、広告情報）を選択し、これを情報検索装置 1 0 0 に送信する。

【 0 1 3 1 】 図 1 3 は他の実施例説明図であり、図 3 に対応する図である。図 1 3 に示すように、情報提供サーバー 1 0 2 は、利用者が指定した情報検索サーバー 1 0 1 に対して利用者が指定した検索情報の検索を自動的に依頼して、該当する検索情報を取得する。情報提供サーバー 1 0 2 による検索情報の取得は提供情報の取得の都度自動的に行われる。従って、情報検索装置 1 0 0 の利用者は全くこれを意識することはなく、検索情報の指定における負担もない。取得した検索情報は、情報提供

サーバー 1 0 2 において、利用者がどのような情報に関心があるのかを解析するために用いられる。

【 0 1 3 2 】 図 1 4 は実施例説明図であり、図 4 に対応する図である。図 1 4 に示すように、情報検索装置 1 0 0 の広告機能 1 0 4 は、更に、情報検索サーバー保持手段 4 5 及び検索情報保持手段 4 6 を備えると考えることができる。従って、広告機能 1 0 4 は、前述のように WWW ブラウザ機能 1 0 5 への検索情報の取得依頼を契機として、情報提供サーバー指定手段 4 1 により指定された情報提供サーバー 1 0 2 に対して、提供情報指定手段 4 2 により指定された提供情報についての提供依頼を行う。情報提供サーバー 1 0 2 は、指定された提供情報を検索して該当する提供情報を WWW ブラウザ機能 1 0 5 へ返す。従って、情報提供サーバー 1 0 2 も情報検索装置の 1 種である。これは第 1 の実施例においても同様である。この検索依頼において、広告機能 1 0 4 は、WWW ブラウザ機能 1 0 5 から送られた情報検索サーバー保持手段 4 5 及び検索情報保持手段 4 6 のデータを情報提供サーバー 1 0 2 に送る。

【 0 1 3 3 】 この実施例においては、提供情報指定手段 4 2 が格納する提供情報を指定するデータとして、情報検索装置 1 0 0 の利用者の属性情報が用いられる。利用者の属性情報は、例えば利用者の性別、年齢、収入、勤務先、家族構成、趣味、特技、身長、体重等である。

【 0 1 3 4 】 例えば、利用者が若い独身の男性であるとする。この利用者が検索情報として、例えば最新の自動車の発売状況を取得しようとしている場合、情報提供サーバー 1 0 2 は、利用者が取得しようとしている検索情報を取得して解析し、これが最新の自動車の発売状況であることを知る。一方、情報提供サーバー 1 0 2 は、属性情報から、利用者が若い独身の男性であることを知る。そこで、情報提供サーバー 1 0 2 は、自動車に関する多くの広告情報の中から例えばスポーツカーの広告情報を選択して、利用者の情報検索装置 1 0 0 に送る。これにより、利用者がより関心があるであろう広告情報を送ることができ、広告効果を高くすることができる。

【 0 1 3 5 】 特に、利用者が取得しようとしている検索情報が A 社の自動車の情報であり、当該情報提供サーバー 1 0 2 （広告主）がその同業社（B 社）である場合、極めて有効である。即ち、自動車の購入の確率が高いであろう利用者、自社の自動車の広告を最良のタイミングで送ることができる。従って、情報検索装置 1 0 0 の情報表示手段 1 3 上で必ず自社の自動車の広告を読ませることができ、A 社の自動車と比較させることができる。そして、A 社の自動車に関心のあった利用者の興味を自社の自動車に向けさせることができる。

【 0 1 3 6 】 なお、この属性情報は、図 1 2 の提供情報指定手段 4 2 に格納されるものである。第 1 の実施例と同様に提供条件入力手段 1 2 から利用者によって入力される。利用者は入力したくない属性情報の項目の入

【０１４３】情報提供サーバー１０２は、それ自体が独立した１個のデータ処理装置であって、図１３に示すようにインターネット１０３に接続される。情報提供サーバー１０２は、図示することはしないが、ＣＰＵ、メモリ、メモリ上のプログラム、通信装置等からなる。提供

【 0 1 4 8 】 情報提供サーバー通信手段 6 3 は、図 1 2 の情報提供サーバー通信手段 4 3 との間で通信を行う。即ち、情報提供サーバー通信手段 6 3 は、自己（情報提供サーバー 1 0 2）を指定した提供依頼がある場合、当

50

該提供依頼の発信元である情報検索装置 100 から属性情報（提供情報を指定するデータ）を受信し、この応答として、所定の処理によつて的確に選択した提供情報を情報検索装置 100 に送信する。この時、情報提供サーバー通信手段 63 は、情報検索装置 100 から、属性情報と共に、情報検索サーバー 101 を指定するデータ及び検索情報を指定するデータを受信する。

【0149】情報検索サーバー 101 を指定するデータ及び検索情報を指定するデータに基づいて、情報提供サーバー通信手段 63 は当該情報検索サーバー 101 との間で通信を行う。即ち、前記 3 個のデータの格納を終了した後、提供情報送出手段 6 の制御の下で、情報提供サーバー通信手段 63 は情報検索サーバー保持手段 65 の指定に従って当該情報検索サーバー 101 との間で通信を行う。そして、情報提供サーバー通信手段 63 は、検索情報保持手段 66 の指定に従って当該情報検索サーバー 101 に当該情報の検索を依頼し、当該検索情報を取得する。情報提供サーバー通信手段 63 は取得した検索情報を検索情報保管手段 67 に格納する。検索情報保管手段 67 はメモリからなる。

【0150】この応答（情報提供サーバー 102 による検索情報の取得）における特徴は、この応答が情報提供サーバー 102 への情報検索装置 100 による提供依頼の入力に応じて自動的に行われることにある。即ち、この応答の契機となる情報検索サーバー 101 への検索依頼は、情報検索装置 100 に利用者から入力されたものではなく、提供情報送出手段 6 によって自動的に発行されるものである。また、通信の相手である情報検索サーバー 101 は、通常、通信の度に異なり、取得される検索情報の内容も、通常、通信の度に異なる。即ち、通信の相手及び取得される検索情報の内容がその度異なる通信が、自動的に行われる。

【0151】このような検索情報の取得の後、提供情報送出手段 6 は検索エンジン 7 に制御を渡して提供情報の検索を依頼する。この時、提供情報送出手段 6 は提供情報指定手段（属性情報保持手段）62 内の属性情報及び検索情報保管手段 67 内の検索情報も検索エンジン 7 に渡す。これに応じて、検索エンジン 7 は、属性情報及び検索情報を用いて提供情報データベース 8 を検索して、属性情報及び検索情報に的確に対応した提供情報を選択（抽出）する。そして、検索エンジン 7 は、当該選択した提供情報を提供情報保管手段 64 に格納して、制御を提供情報送出手段 6 に返す。提供情報保管手段 64 はメモリからなる。

【0152】検索エンジン 7 から制御を戻された提供情報送出手段 6 は、情報提供サーバー通信手段 63 に当該提供依頼の発信元である情報検索装置 100 との間での通信を行わせる。この通信において、提供情報保管手段 64 に格納された提供情報が、情報提供サーバー通信手段 63 によって当該提供依頼の発信元である情報検索装

置 100 に送信される。このために、提供情報送出手段 6 又は情報提供サーバー通信手段 63 は、この提供情報の送信まで、当該提供依頼の発信元である情報検索装置 100 を格納する。

【0153】検索エンジン 7 は、提供情報送出手段 6 から提供情報の検索の依頼を受けた場合、前述のように、提供情報指定手段 62 内の属性情報及び検索情報保管手段 67 内の検索情報を読み出して、これらを用いて提供情報データベース 8 を検索する。

【0154】提供情報データベース 8 は、当該情報提供サーバー 102 が外部に提供する提供情報（広告情報）を複数格納し、検索エンジン 7 によって管理される。広告情報は、情報提供サーバー 102 の入出力手段（図示せず）から情報提供サーバー 102 の広告主によって入力され、検索エンジン 7 によって提供情報データベース 8 の所定のファイルに格納される。広告情報は一般に文字情報、音声情報、画像情報等からなる。提供情報データベース 8 のファイルは、広告情報毎に設けられ、その広告情報の名前、文字情報等の広告情報の内容、所定のタグ（又はフラグ）を格納する。このタグは当該広告情報の属性を示す情報である。例えば、「スポーツカー」の広告情報に対して、「自動車」、「若い」、「独身」、「男性」と言うタグが付加される。言うまでもなく、タグの種類及び数等は前述のものには限られない。

【0155】まず、検索エンジン 7 は、提供情報指定手段 62 内の属性情報及び検索情報保管手段 67 内の検索情報を読み出す。この広告システムにおける属性情報は、利用者の入力に基づいて、所定のタグ又はフラグの集合により定義される。また、この広告システムにおける検索情報には予め所定のタグが付加される。

【0156】例えば、前述のように、利用者が若い独身の男性であり、この利用者が検索情報として最新の自動車の発売状況を取得しようとしている場合を考える。この場合には、属性情報が若い独身の男性であるので、当該属性情報は「若い」、「独身」、「男性」と言うタグの集合として定義される。あるいは、予め定められたフラグテーブルにおいて、「若い」、「独身」、「男性」と言うフラグが立てられる。また、検索情報が最新の自動車の発売状況であるので、当該検索情報に「自動車」と言うタグが付加される。これにより、検索エンジン 7 は、検索情報及び属性情報から、「若い」、「独身」、「男性」、「自動車」と言うタグの集合を得る。

【0157】属性情報の解釈（タグによる定義）は、例えば検索エンジン 7 によって行われる。従って、提供情報指定手段 62 には利用者が入力した属性情報がそのまま格納される。一方、検索情報のタグは、情報検索サーバー 101（の発信者）によって、この広告システムにおいて予め定められた規則に従って、予め当該検索情報に付加される。なお、属性情報の解釈と同様に、例えば検索エンジン 7 が、提供情報送出手段 6 の取得した当該

検索情報を解釈することによって、検索情報のタグを作成するようにしても良い。

【0158】次に、検索エンジン7は、属性情報及び検索情報を用いて、提供情報データベース8に格納されている広告情報の中からの確かな広告情報を選択する。このために、この広告システムにおける提供情報には予め所定のタグ（又はフラグ）が付加される。

【0159】例えば、提供情報データベース8に格納されている広告情報の中で、広告情報「スポーツカー」に対して、タグ「自動車」、「若い」、「独身」、「男性」が付加される。従って、検索エンジン7は、提供情報データベース8において、属性情報から求めた「若い」、「独身」、「男性」と言うタグと、検索情報から求めた「自動車」と言うタグの全てを持つ項目（広告情報）である「スポーツカー」の広告情報を選択する。即ち、全てのタグが一致する項目（広告情報）を抽出する。これにより、属性情報及び検索情報に基づいて、的確な広告情報を選択することができる。

【0160】なお、例えば前記4個のタグの中の3個のタグを持つ広告情報のみが提供情報データベース8に存在する場合、検索エンジン7は当該3個のタグを持つ広告情報を選択する。また、前記4個のタグを含む5個のタグを持つ広告情報のみが提供情報データベース8に存在する場合、検索エンジン7は当該5個のタグを持つ広告情報を選択する。また、前記4個のタグを持つ広告情報が複数個提供情報データベース8に存在する場合、例えば属性情報から得たタグの優先度を高くして、検索エンジン7が当該属性情報から得たタグを持つ広告情報を優先的に選択するようにしても良く、この逆でも良い。

【0161】広告情報の解釈即ちタグによる定義は、情報提供サーバー102（の広告主）がこの広告システムにおいて予め定められた規則に従って予め広告情報にタグを付加することによって行われる。即ち、広告主と広告代理店との間の契約によって、ある属性情報をもつ利用者がある検索情報を検索した場合にどのような提供情報を送出するかが予め定められる。これを決定するのは広告主であるので、広告の効果についての最終的な責任は広告主が負うことになる。一方、広告代理店は広告の専門家として広告の効果を上げるべく広告主に助言できる。

【0162】以上のような広告の効果をより優れたものとするために、提供情報送出手段6は、図12（又は図2）の情報検索装置100が備える提供情報利用履歴記録手段51の内容（提供情報利用履歴）を定期的に読み出す。このために、提供情報送出手段6はタイマ68を備え、情報提供サーバー102は提供情報利用履歴データベース9及び情報提供先リスト10を備える。タイマ68は、提供情報送出手段6の制御の下で、予め定められた時間をカウントする。提供情報利用履歴データベース9及び情報提供先リスト10は、メモリからなり、提

供情報送出手段6によって管理される。

【0163】情報提供先リスト10は、所定のフォーマットに従って、この情報提供サーバー102が提供情報を送出する送出先である情報検索装置100の名前を登録する。前述のように、情報検索装置100は広告代理店サーバー102Aと契約を結んでおり、広告代理店サーバー102Aは情報提供サーバー102と契約を結んでいる。これらの契約に従って、情報提供サーバー102から情報検索装置100に提供情報が送出される。そこで、広告代理店サーバー102Aから情報提供サーバー102に対して、インターネット103を介して、情報提供先リスト10が送られる。この情報提供先リスト10は、当該広告代理店サーバー102Aとの契約により当該情報提供サーバー102から提供情報を受け取っている情報検索装置100の名前（WWWブラウザ名）の一覧である。

【0164】提供情報利用履歴データベース9は、所定の格納フォーマットに従って、提供情報利用履歴を格納するデータベースである。提供情報利用履歴データベース9は、情報提供先リスト10に基づいて、提供情報送出手段6によって作成される。提供情報利用履歴データベース9のファイルは、情報検索装置100毎に設けられ、当該情報提供サーバー102から提供情報を受け取っている情報検索装置100の名前に対応して、当該情報検索装置100の提供情報の利用履歴を格納する。

【0165】情報提供先リスト10は随時更新される。即ち、情報検索装置100と広告代理店サーバー102Aとの間の新たな契約又は契約の破棄に従って、広告代理店サーバー102Aは情報提供サーバー102に対して最新の情報提供先リスト10を送る。この更新はインターネット103を介した広告代理店サーバー102Aと情報提供サーバー102との間の通信により行われる。更新された情報提供先リスト10を受け取った場合、提供情報送出手段6は当該更新された情報提供先リスト10に対応するように提供情報利用履歴データベース9を更新する。即ち、新たなエントリが作成され、又は既存のエントリが消去される。

【0166】提供情報送出手段6は、タイマ68がカウントアップした場合、情報提供先リスト10を参照して、当該情報提供先リスト10に登録されている情報検索装置100の各々に対して、情報提供サーバー通信手段63及びインターネット103を介して、提供情報利用履歴の読み出し要求を行う。これにより、情報提供サーバー102は定期的（例えば、1分毎、1時間毎、1日毎、1週間毎）に提供情報の利用状況を把握できる。また、この読み出し要求は随時更新される情報提供先リスト10に基づいて行われるので、情報提供サーバー102は常に最新の情報検索装置100について提供情報の利用状況を把握できる。

【0167】提供情報利用履歴の読み出し要求を受信し

た情報検索装置 100 (の提供情報利用履歴管理手段 5) は、前述のように、自己の提供情報利用履歴記録手段 51 が格納している利用者の実際の提供情報の利用履歴を、インターネット 103 を介して、情報提供サーバー 102 に送る。この時、提供情報利用履歴管理手段 5 は、当該読み出し要求を発信した情報提供サーバー 102 についての提供情報利用履歴のみを、提供情報利用履歴記録手段 51 から抽出して情報提供サーバー 102 に送る。このために、提供情報利用履歴管理手段 5 は当該読み出し要求を発信した情報提供サーバー 102 の名前を用いて提供情報利用履歴記録手段 51 を検索する。

【 0168 】情報検索装置 100 からの提供情報利用履歴を受信した提供情報送出手段 6 は、これを提供情報利用履歴データベース 9 の当該情報検索装置 100 についてのエントリに書き込む。これにより、提供情報利用履歴データベース 9 には提供情報の利用履歴が順次蓄積される。前述のように、提供情報利用履歴は例えば利用対象、利用者、利用時、利用程度等である。従って、情報提供サーバー 102 (広告主) は何時どのような利用者がどのような情報提供をどの程度利用しているかを解析することができる。情報提供サーバー 102 はこの解析結果に基づいて広告の効果を正確に把握できる。なお、このような広告の効果の解析を容易にするために、情報提供先リスト 10 において、予め情報検索装置 100 の名前毎にその利用者の属性情報を格納するようにしても良い。

【 0169 】次に、図 17 の情報提供サーバーによる提供情報送出手理について、図 18 乃至図 20 により説明する。図 18 乃至図 20 は、全体として 1 つの提供情報送出手理フローを構成し、図 17 の情報提供サーバー 102 が実行する提供情報送出手理を示す。

【 0170 】図 18 において、提供情報送出手段 6 が、情報提供サーバー通信手段 63 が当該情報提供サーバー 102 の外部 (の情報検索装置 100) からの情報 (提供情報) の提供依頼を受けたか否かを調べる (S 71) 。

【 0171 】提供依頼を受けている場合、提供情報送出手段 6 が S 73 乃至 S 78 を実行する。この処理については図 19 により後述する。提供依頼を受けていない場合、提供情報送出手段 6 が提供情報利用履歴を取得すべき時か否かを調べる (S 72) 。即ち、タイムアップしたか否かを調べる。

【 0172 】提供情報利用履歴を取得すべき時である場合、提供情報送出手段 6 が S 79 乃至 S 82 を実行する。この処理については図 20 により後述する。提供情報利用履歴を取得すべき時でない場合、提供情報送出手段 6 が S 71 以下を繰り返す。

【 0173 】図 19 において、提供情報送出手段 6 が、情報検索サーバー 101 を指定するデータを当該提供依頼から抽出して情報検索サーバー保持手段 65 に格納

し、検索情報を指定するデータを当該提供依頼から抽出して検索情報保持手段 66 に格納し、利用者の属性情報を当該提供依頼から抽出して提供情報指定手段 (属性情報保持手段) 62 に格納する (S 73) 。

【 0174 】提供情報送出手段 6 が、情報提供サーバー通信手段 63 を介して、情報検索サーバー保持手段 65 の指定する情報検索サーバー 101 に対して、検索情報保持手段 66 の指定する情報 (検索情報) の検索を依頼する (S 74) 。

【 0175 】提供情報送出手段 6 が当該情報検索サーバー 101 の処理が終了したか否かを調べる (S 75) 。処理が終了しない場合、S 75 を繰り返す。処理が終了した場合、提供情報送出手段 6 が、情報提供サーバー通信手段 63 を介して、当該情報検索サーバー 101 から当該検索情報を取得し、検索情報保管手段 67 に保管する (S 76) 。

【 0176 】検索エンジン 7 が、提供情報指定手段 62 の内容 (属性情報) と検索情報保管手段 67 の内容 (検索情報) とを参照しつつ、提供情報データベース 8 を検索して、その検索結果 (的確な広告情報) を提供情報保管手段 64 に格納する (S 77) 。

【 0177 】提供情報送出手段 6 が、情報提供サーバー通信手段 63 を介して、提供情報保管手段 64 の内容 (的確な広告情報) を提供依頼元 (外部の情報検索装置 100) に送信する (S 78) 。この後、図 18 の S 72 以下を繰り返す。

【 0178 】図 20 において、提供情報送出手段 6 が、タイムアップを再スタートさせた後、情報提供先リスト 10 に記載されている情報検索装置 100 の各々に対して、情報提供サーバー通信手段 63 を介して、提供情報利用履歴の読み出しを要求する (S 79) 。即ち、提供情報利用履歴データベース 9 への記録を要求する。

【 0179 】提供情報送出手段 6 が、当該要求をした全ての情報検索装置 100 から応答を受け取ったか否かを調べる (S 80) 。全ての応答を受け取った場合、図 18 の S 71 以下を繰り返す。

【 0180 】全ての応答を受け取っていない場合、当該要求をした情報検索装置 100 のいずれか 1 つから応答を受け取ったか否かを調べる (S 81) 。いずれの情報検索装置 100 から応答がない場合、S 81 を繰り返す。

【 0181 】いずれか 1 つの情報検索装置 100 から応答を受け取った場合、提供情報送出手段 6 が、情報提供サーバー通信手段 63 を介して、当該応答をした情報検索装置 100 からその提供情報利用履歴を受け取り、提供情報利用履歴データベース 9 に格納する (S 82) 。この後、当該応答をした情報検索装置 100 を当該処理の対象から除外した後、S 80 以下を繰り返す。

【 0182 】この実施例において、利用者から見た情報検索装置 100 における検索情報 (変更後の文書 10

8) の取得は、第 1 の実施例における取得と何ら差異はない。従って、この過程において実行される情報提供サーバー 102 による検索情報の取得等の処理は、利用者には全く見えず意識されない。利用者は、自分が所望した検索情報と広告情報とを得るのみである。そして、利用者は広告情報がよりの確に選択されたものであることも意識することがない。

【0183】この実施例は、図 21 に示すように、情報提供サーバー 102 に代えて広告代理店サーバー 102A に適用することもできる。この場合、広告システムは図 21 に示すように構成される。即ち、情報検索装置 100 が情報検索サーバー 101 から検索情報を得る際、情報検索装置 100 の情報提供サーバー通信手段 43 が情報提供サーバー 102 に代えて広告代理店サーバー 102A にアクセスして提供情報を得る。

【0184】この場合、広告代理店サーバー 102A が図 17 に示す構成とされる。従って、広告代理店サーバー 102A が、情報検索サーバー 101 をアクセスして当該検索情報を得て、これに基づいて提供情報を選択し、情報検索装置 100 に対してこの提供情報を送信する。提供情報は予め情報提供サーバー 102 から広告代理店サーバー 102A へインターネット 103 を介して送られる。即ち、広告代理店サーバー 102A は自分が

契約した情報提供サーバー 102 が外部に提供する提供情報（広告情報）を予め備える。

【0185】また、この場合、利用者の属性情報や利用者の提供情報利用履歴は、広告代理店サーバー 102A に送られるのみで、情報提供サーバー 102 に送ることがない。従って、利用者のプライバシーを守ることができる。

【0186】なお、情報検索装置 100 から提供依頼があった時点で、広告代理店サーバー 102A が情報提供サーバー 102 にアクセスして提供情報を取得するようにしても良い。この場合、広告代理店サーバー 102A における提供情報データベース 8 は、提供情報（広告情報）の名前及び所定のタグのみを格納するようにされ、文字情報等の提供情報の内容は格納しない。これにより、提供情報の的確な選択を可能としつつ、提供情報データベース 8 を小さくすることができる。

【0187】また、この実施例において、図 22 に示すように、提供情報指定手段 42 を省略しても良い。即ち、情報提供サーバー指定手段 41 は情報提供サーバー 102（又は広告代理店サーバー 102A）をアクセスするために必須であるが、提供情報指定手段 42 と、情報検索サーバー保持手段 45 及び検索情報保持手段 46 とは、択一的に設けることができる。図 22 に示す例の場合、情報検索装置 100 が取得する提供情報が利用者の関心に適合する程度は、提供情報指定手段 42 の内容（属性情報）が無い分だけ低下するが、情報検索サーバー保持手段 45 及び検索情報保持手段 46 の内容によつ

てある程度まで高くされている。

【0188】また、この実施例において、提供情報利用履歴データベース 9 及び情報提供先リスト 10 を省略しても良い。具体的には、情報提供サーバー 102 又は広告代理店サーバー 102A のいずれか一方又は双方において、これらを省略しても良い。逆に、情報提供サーバー 102 及び広告代理店サーバー 102A の双方において、これらを設けても良い。

【0189】以上、本発明を実施例により説明したが、本発明は上記実施の形態に限られるものではなく、その主旨の範囲において種々変形可能である。例えば、情報提供サーバー指定手段 41 及び提供情報指定手段 42 の対を複数組備えるようにしてもよい。この場合、利用者は複数の異なる提供情報を異なる情報提供サーバー 102 から取得するように指定できる。従って、検索情報の取得の度毎に、指定された異なる提供情報が順に表示される。これにより、利用者が同一の提供情報を繰り返し見ることを防止できる。従って、広告効果を高め、また、短時間に多くの検索情報の取得が行われても、その都度異なる提供情報の画面を表示できる。

【0190】また、検索情報の取得処理の前に提供情報の取得処理を行ってもよい。即ち、図 8 の S4 を S3 より先に実行してもよい。また、図 8 の S4 と S3 とを並列に実行する場合に、図 10 の S31 及び S32 の実行の間に図 11 の S41 を実行し、S42 の実行の間に S33 を実行してもよい。

【0191】また、提供情報は検索情報に組み込んで表示するのではなく、アクセスの最初又は最後の一定時間に表示するようにしてもよい。この場合、利用者の入力に応じて、随時、提供情報の画面を表示できるようにすることが望ましい。

【0192】また、提供情報利用履歴記録手段 51 は情報検索装置 100 のメモリを使用するので、提供情報利用履歴を提供情報の利用の度毎に、情報提供サーバー 102 又は広告主のサーバーに送信するようにしてもよい。即ち、提供情報利用履歴管理手段 5 を情報提供サーバー 102 又は広告主のサーバーに設けるようにしてもよい。

【0193】この場合、特に第 2 の実施例においては、提供情報の利用の度毎に、提供情報利用履歴が情報提供サーバー 102 又は広告代理店サーバー 102A に設けられた提供情報利用履歴データベース 9 に書き込まれる。

【0194】また、第 1 の実施例において、提供情報指定手段 42 に保持される提供情報を指定するためのデータは、第 2 の実施例において示した利用者の属性情報であっても良い。属性情報は、提供情報を漠然と絞り込むために有効であるので、提供情報を指定するためのデータとして汎用性を有する。

【0195】また、第 1 の実施例において、情報提供サ

ーバー 1 0 2 は図 2 3 に示す構成とされる。これは、図 1 7 の情報提供サーバー 1 0 2 において、情報検索サーバー保持手段 6 5、検索情報保持手段 6 6、検索情報保管手段 6 7 を省略したものに等しい。

【0 1 9 6】また、第 1 の実施例において、情報検索装置 1 0 0 が提供情報を取得する相手が、情報提供サーバー 1 0 2 に代えて広告代理店サーバー 1 0 2 A であっても良い。即ち、第 1 の実施例も、第 2 の実施例と同様に、情報提供サーバー 1 0 2 に代えて広告代理店サーバー 1 0 2 A に適用することができる。この場合、図 3 が図 2 1 において情報検索サーバー 1 0 1 と広告代理店サーバー 1 0 2 A との間における通信を省略した図に等しくなる。従って、広告代理店サーバー 1 0 2 A は、情報検索装置 1 0 0 からアクセスされた時点、又は、当該アクセスに先立って予め、情報提供サーバー 1 0 2 から提供情報を取得する。即ち、提供情報は、情報提供サーバー 1 0 2 からの取得、広告代理店サーバー 1 0 2 A からの取得、広告代理店サーバー 1 0 2 A から情報提供サーバー 1 0 2 をアクセスしての取得の 3 経路が可能である。

【0 1 9 7】また、第 1 の実施例に従う広告システムと第 2 の実施例に従う広告システムとが混在しても良い。例えば、ある情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A は図 3 のようにして提供情報を送るサーバーであり、他の情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A は図 2 1 のようにして提供情報を送るサーバーである。この場合、広告システムの選択の決定は利用者が行いうる。即ち、自分の情報検索装置 1 0 0 において、図 2、図 1 2、図 2 2 のいずれの構成を構築するかは自由に選択できる。そして、情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A が前記いずれの構成をもサポートできるサーバーである場合、情報検索装置 1 0 0 は提供情報の取得について全く意識する必要がない。即ち、いずれの情報提供サーバー 1 0 2 又は広告代理店サーバー 1 0 2 A から提供情報を取得できる。

【0 1 9 8】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、インターネットの WWW サーバーである情報検索サーバーから検索情報を取得する情報検索装置及びこれを用いた情報検索システムにおいて、検索情報を取得する場合に、検索情報を取得するためのデータの入力を契機として自動的に WWW サーバーである情報提供サーバーから広告情報の如き提供情報を取得し検索情報に組み込むことにより、提供情報を各情報検索サーバーにおいて持つ必要を無くし、また、処理をサーバー側で完結させる必要をなくすることができるので、情報検索装置側（クライアント側）で利用者の希望に応じた処理を行うことができる、この結果、利用者がある特定の情報を検索サーバーにアクセスしてこなくても情報提供サーバーが広告情

報の如き提供情報を利用者に送ることができ、しかもこの広告情報を利用者が予め選択することにより利用者にとって有益なものにできる。このため、ある特定の情報検索サーバーにアクセスが集中するとしても、広告による効果が得られるので、本発明の情報検索装置を WWW における広告に広く適用することができ、インターネットで発信される有用な情報の提供を有料として、「広告」の仕組みを WWW に取り入れ、有料情報の価格を下げるができる。

10 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の原理構成図である。

【図 2】実施例構成図である。

【図 3】実施例説明図である。

【図 4】実施例説明図である。

【図 5】実施例説明図である。

【図 6】実施例説明図である。

【図 7】情報検索処理フローである。

【図 8】情報検索処理フローである。

【図 9】情報検索処理フローである。

20 【図 1 0】検索情報取得処理フローである。

【図 1 1】提供情報取得処理フローである。

【図 1 2】他の実施例構成図である。

【図 1 3】他の実施例説明図である。

【図 1 4】他の実施例説明図である。

【図 1 5】他の検索情報取得処理フローである。

【図 1 6】他の提供情報取得処理フローである。

【図 1 7】他の実施例構成図である。

【図 1 8】提供情報送出处理フローである。

【図 1 9】提供情報送出处理フローである。

30 【図 2 0】提供情報送出处理フローである。

【図 2 1】更に他の実施例説明図である。

【図 2 2】更に他の実施例構成図である。

【図 2 3】更に他の実施例構成図である。

【符号の説明】

1 入出力手段

2 情報変換手段

3 検索情報取得手段

4 提供情報取得手段

5 提供情報利用履歴管理手段

40 6 提供情報送出手段

7 検索エンジン

8 提供情報データベース

9 提供情報利用履歴データベース

1 0 情報提供先リスト

1 1 検索条件入力手段

1 2 提供条件入力手段

1 3 情報表示手段

3 1 情報検索サーバー指定手段

3 2 検索情報指定手段

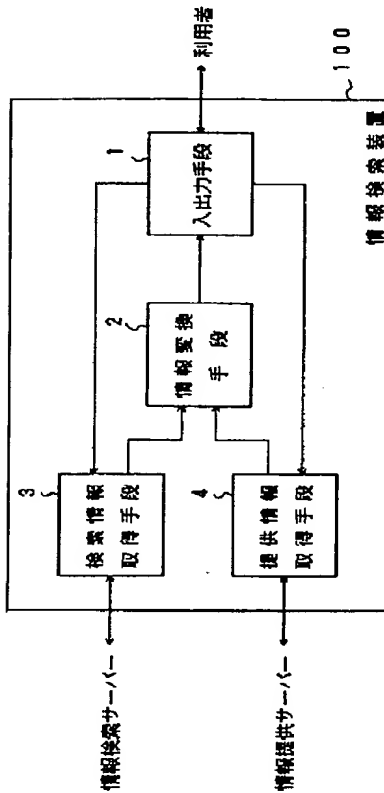
50 3 3 情報検索サーバー通信手段

43

- 3 4 検索情報保管手段
- 4 1 情報提供サーバー指定手段
- 4 2 提供情報指定手段
- 4 3 情報提供サーバー通信手段
- 4 4 提供情報保管手段
- 4 5 情報検索サーバー保持手段
- 4 6 検索情報保持手段
- 5 1 提供情報利用履歴記録手段

【図 1】

本発明の原理構成図

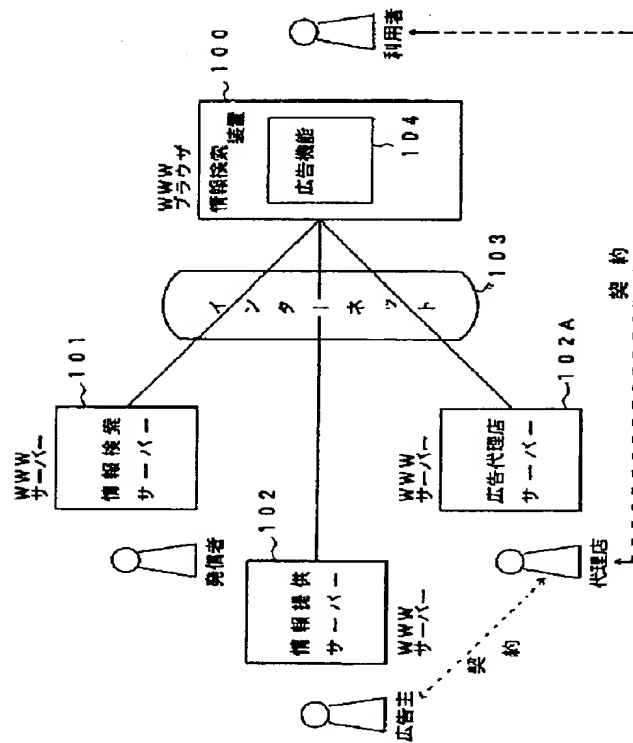


44

- 5 2 提供情報利用履歴通信手段
- 6 2 提供情報指定手段
- 6 3 情報提供サーバー通信手段
- 6 4 提供情報保管手段
- 6 5 情報検索サーバー保持手段
- 6 6 検索情報保持手段
- 6 7 検索情報保管手段

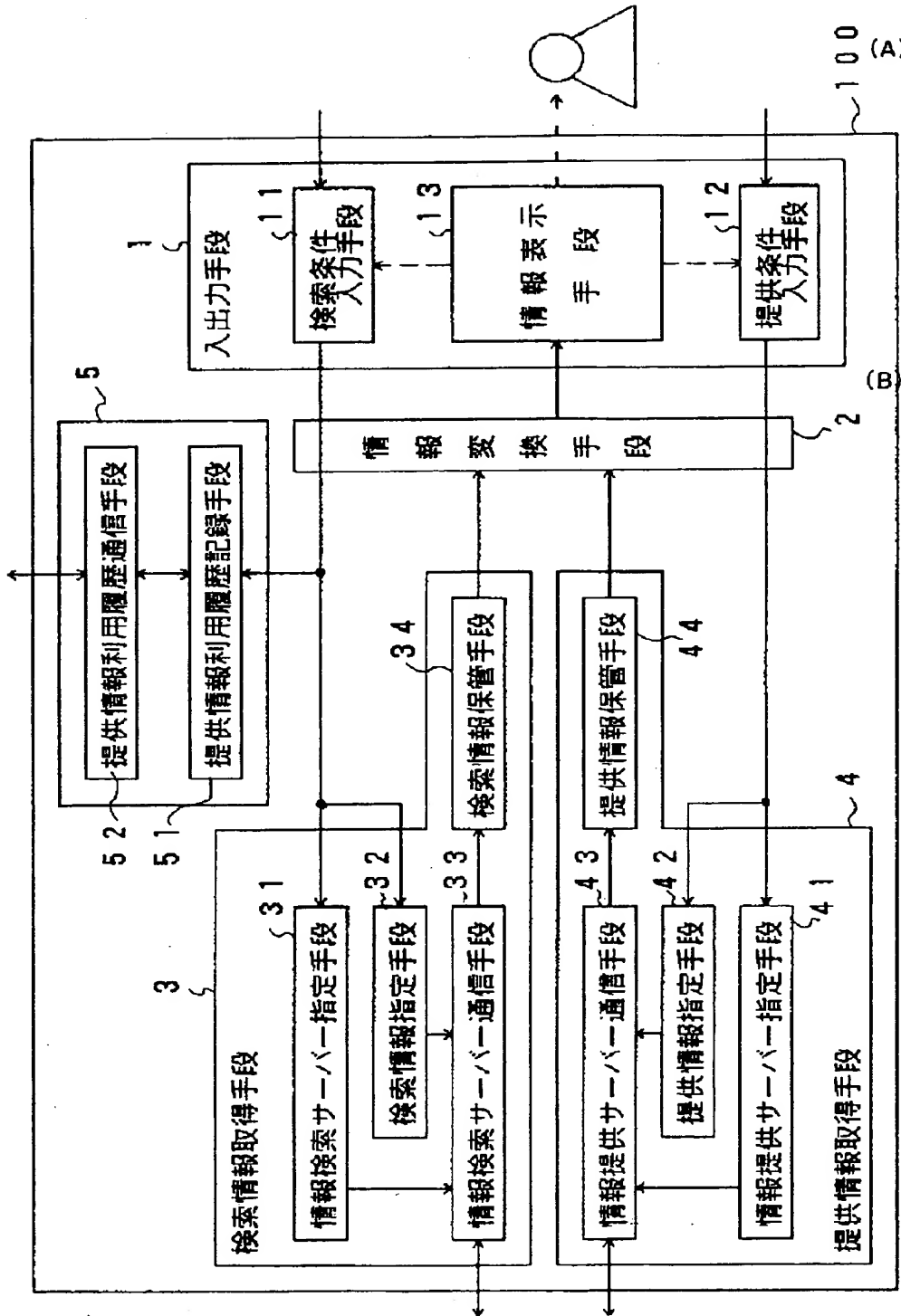
【図 3】

実施例説明図



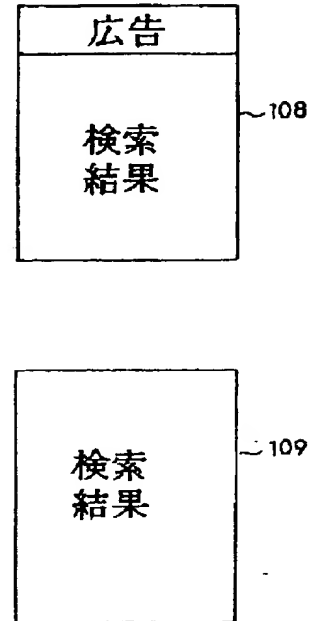
【図 2】

実施例構成図



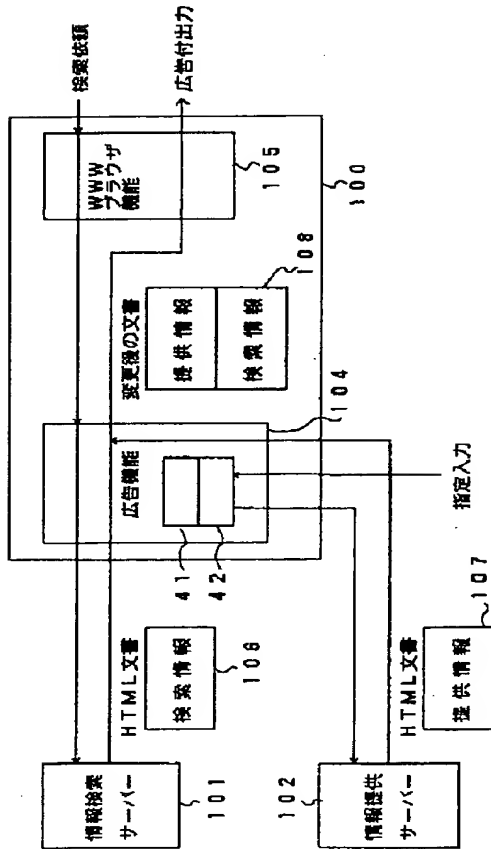
【図 5】

実施例説明図



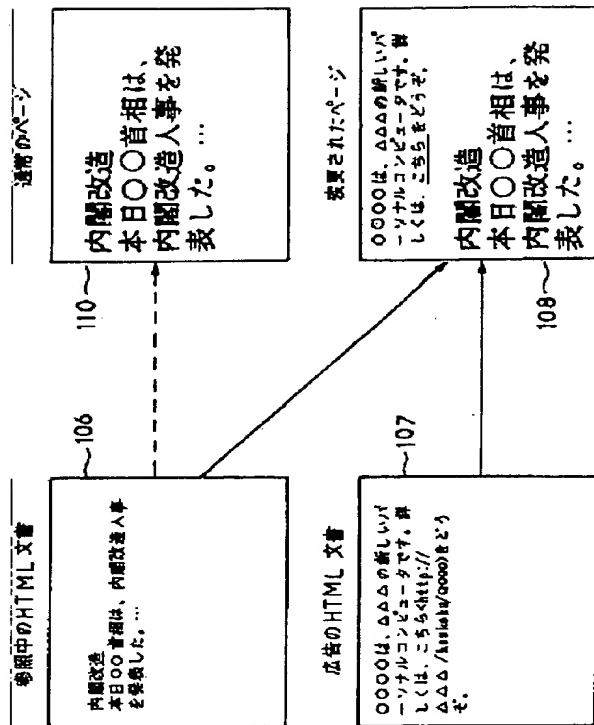
【図 4】

測 定 説 明 図



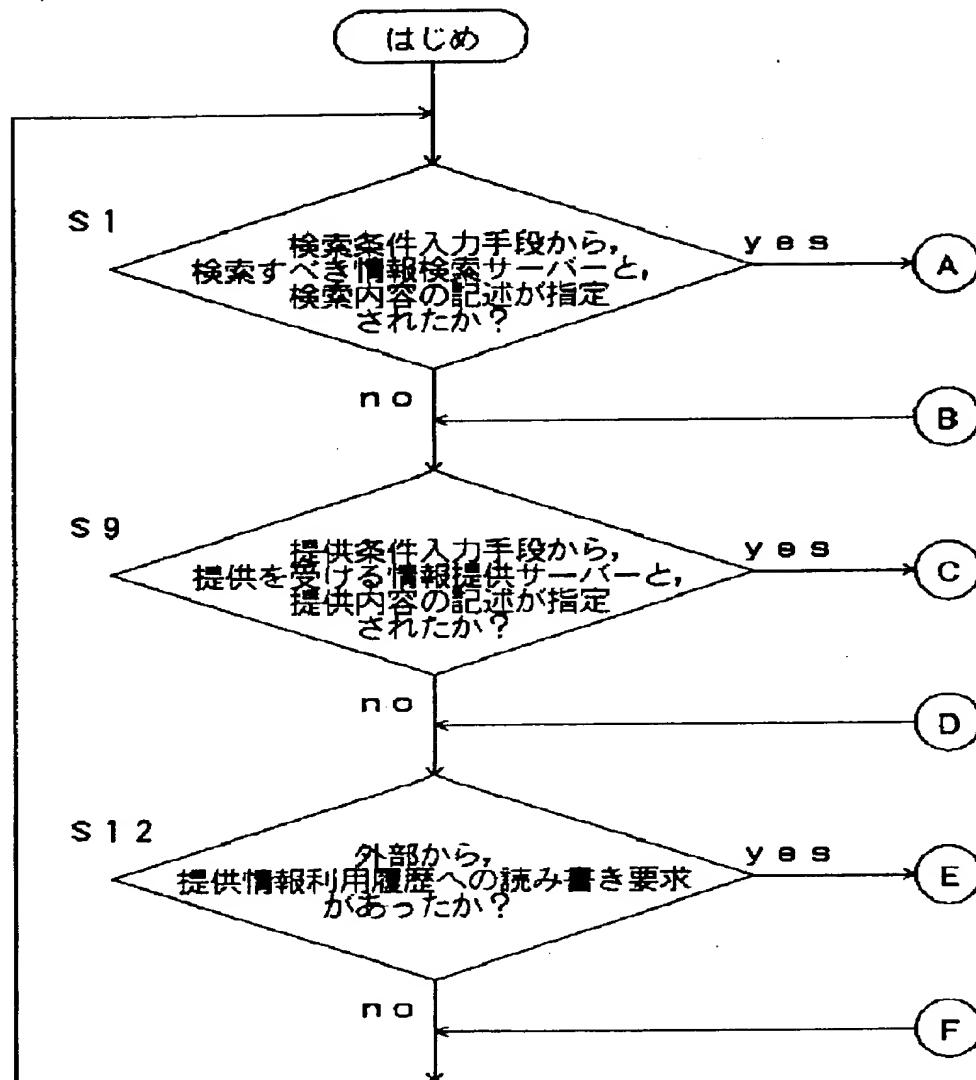
【図 6】

対 施 例 説 明 図



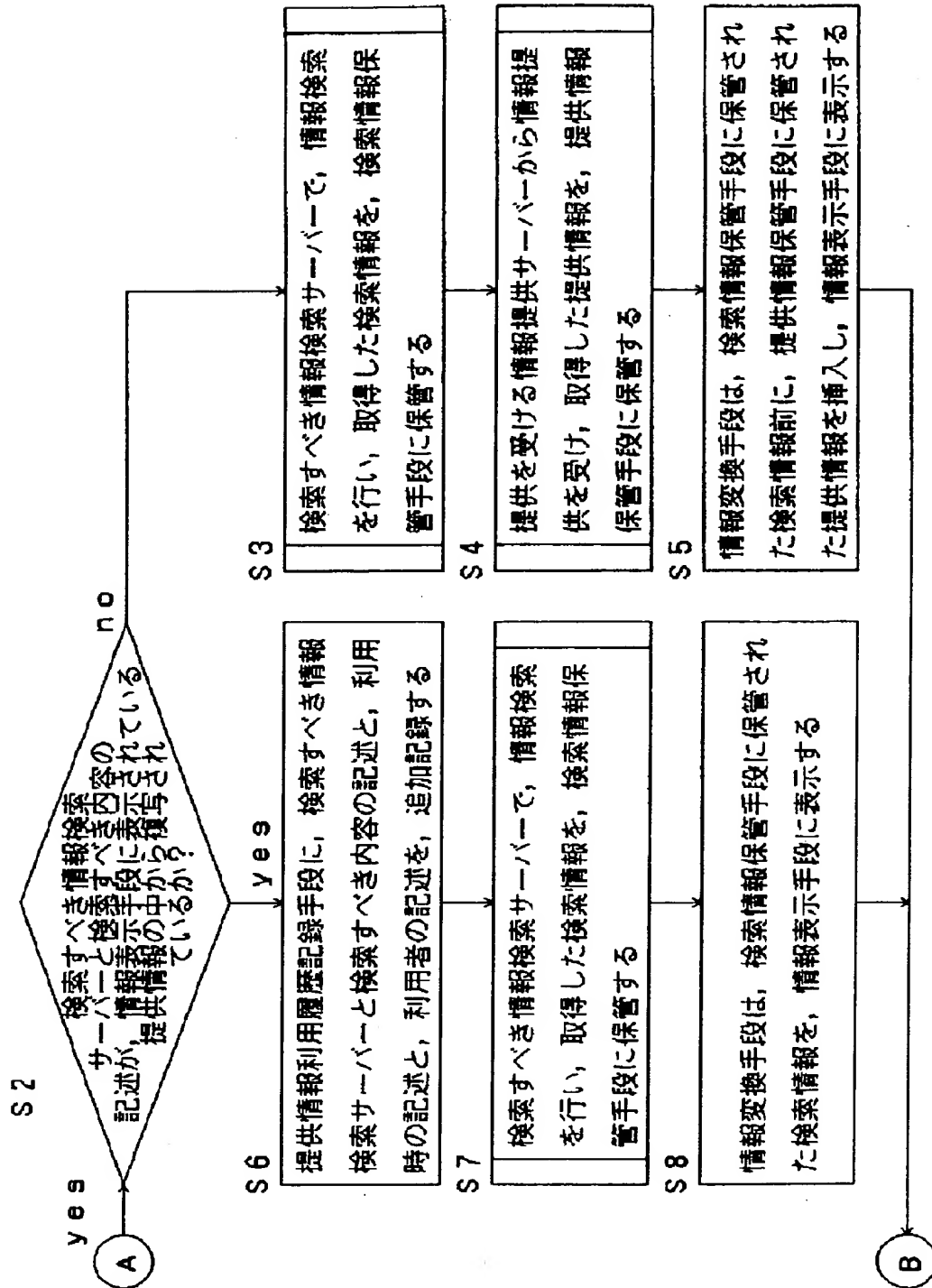
【図 7】

情報検索処理フロー



【図 8】

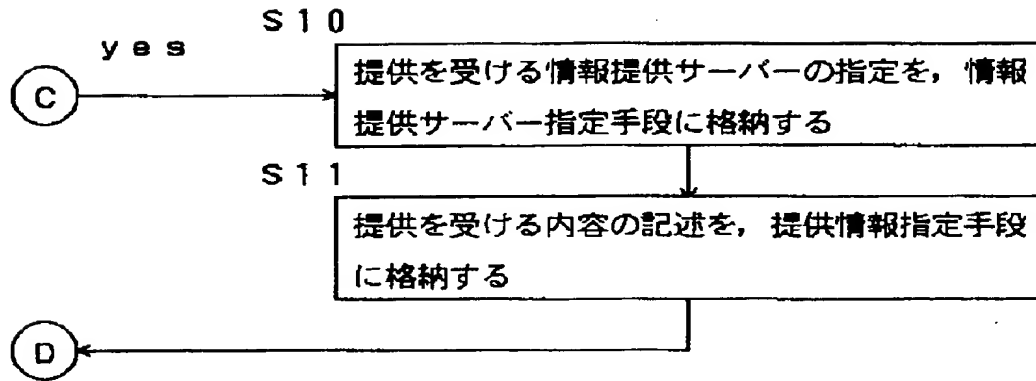
情報検索処理フロー



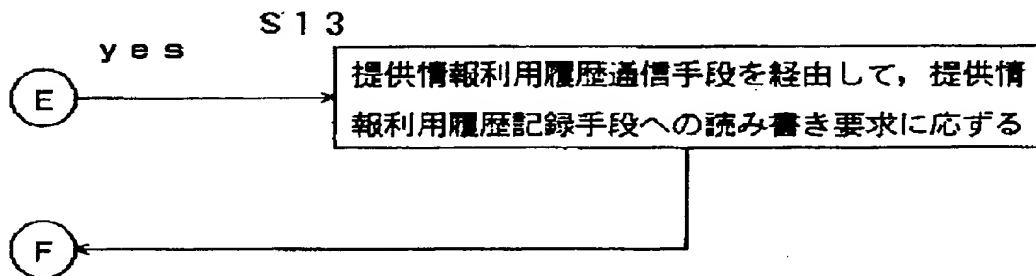
【図 9】

情報検索処理フロー

(A)

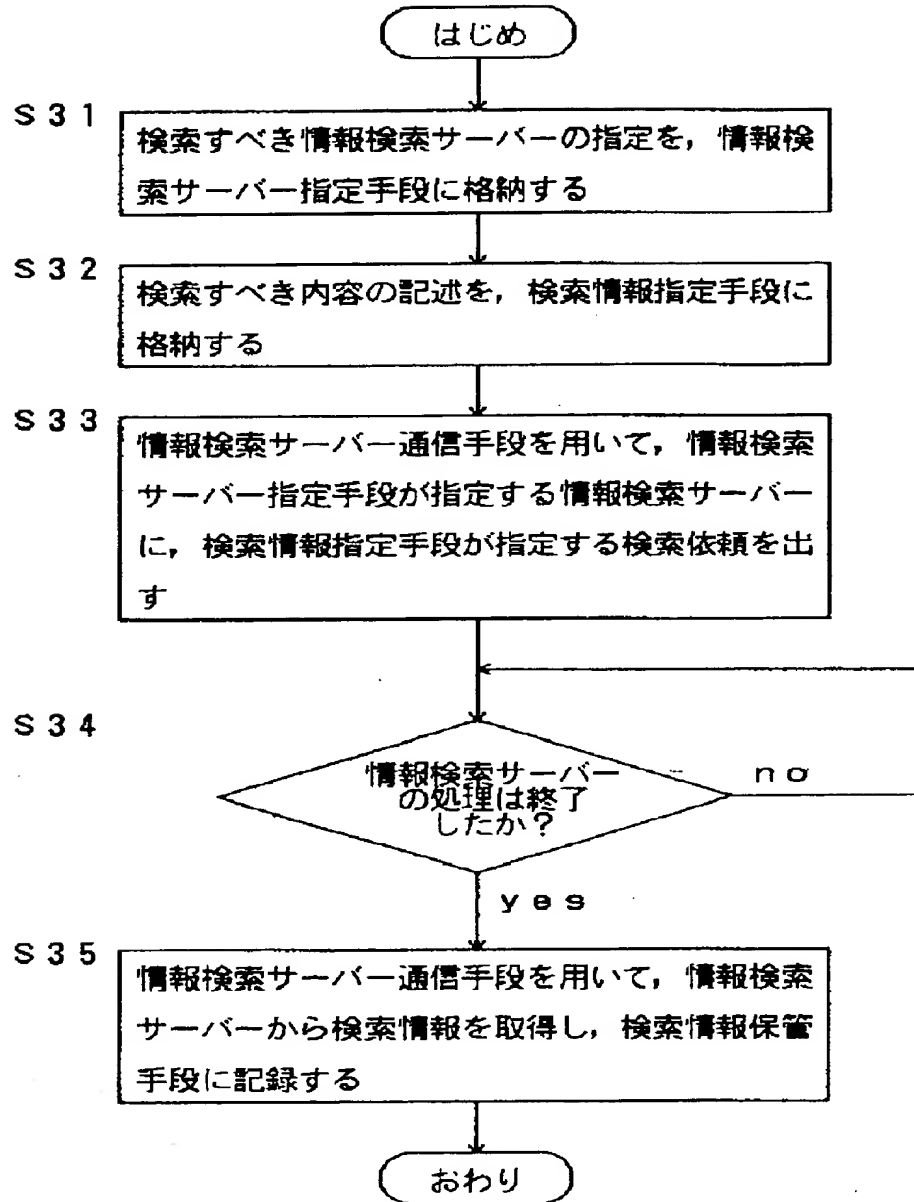


(B)



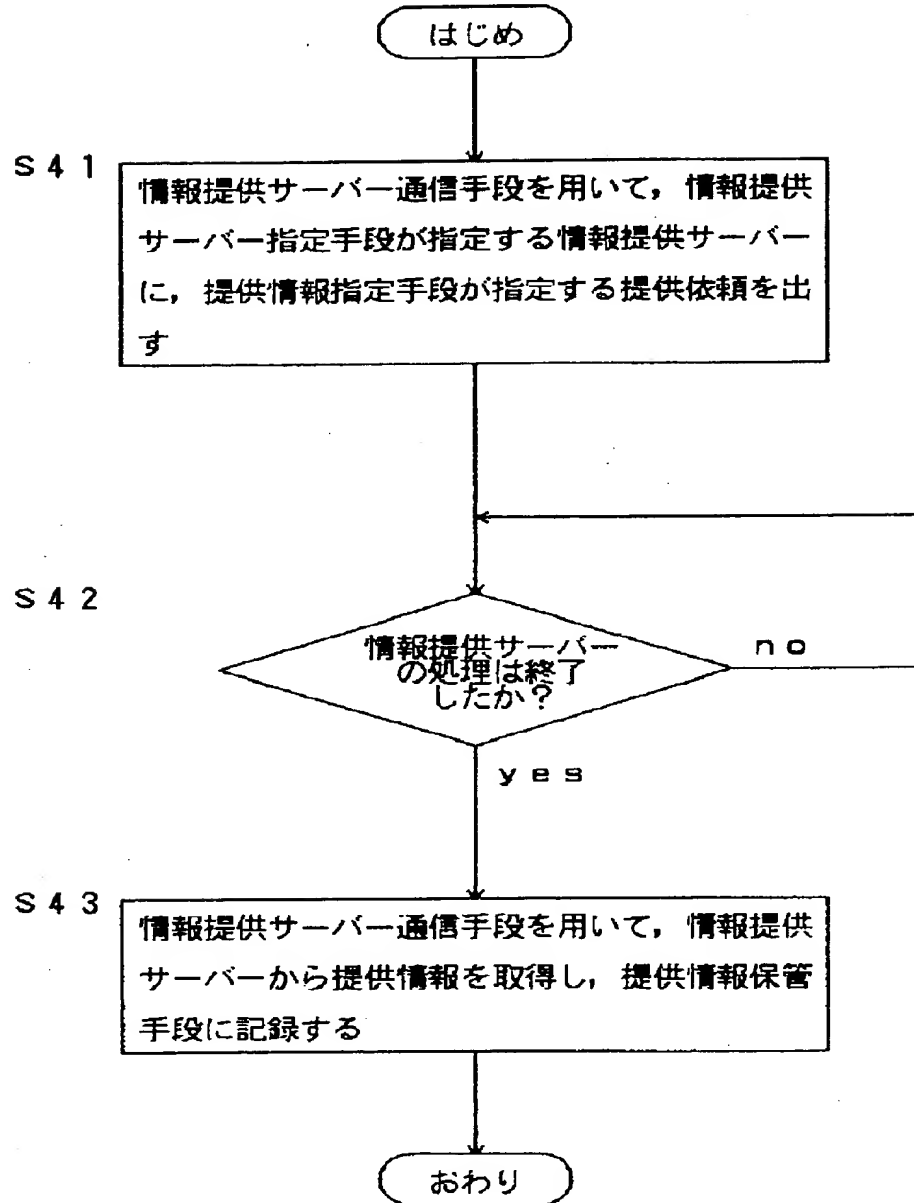
【図 10】

検索情報取得処理フロー



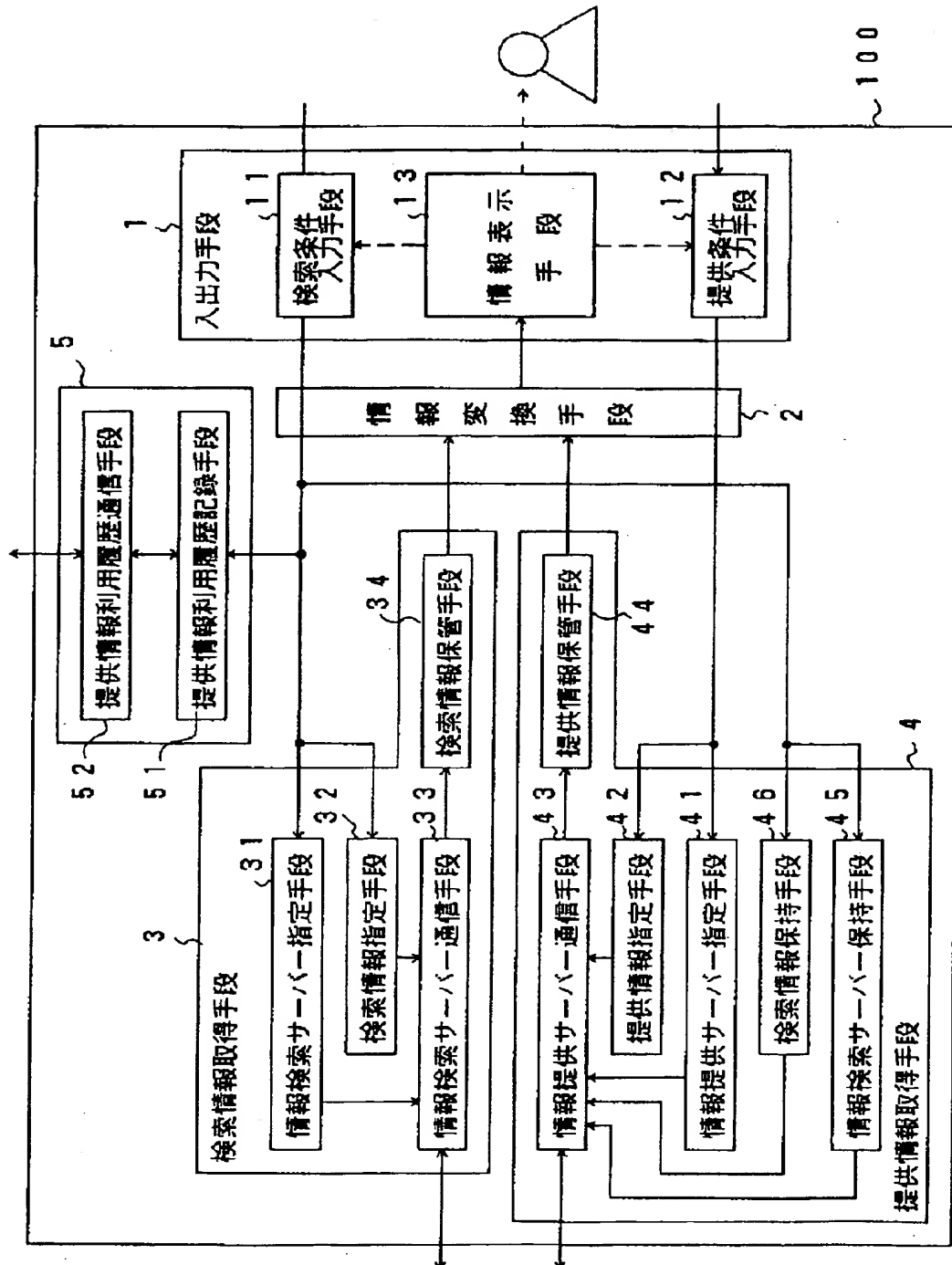
【図 1 1】

提供情報取得処理フロー



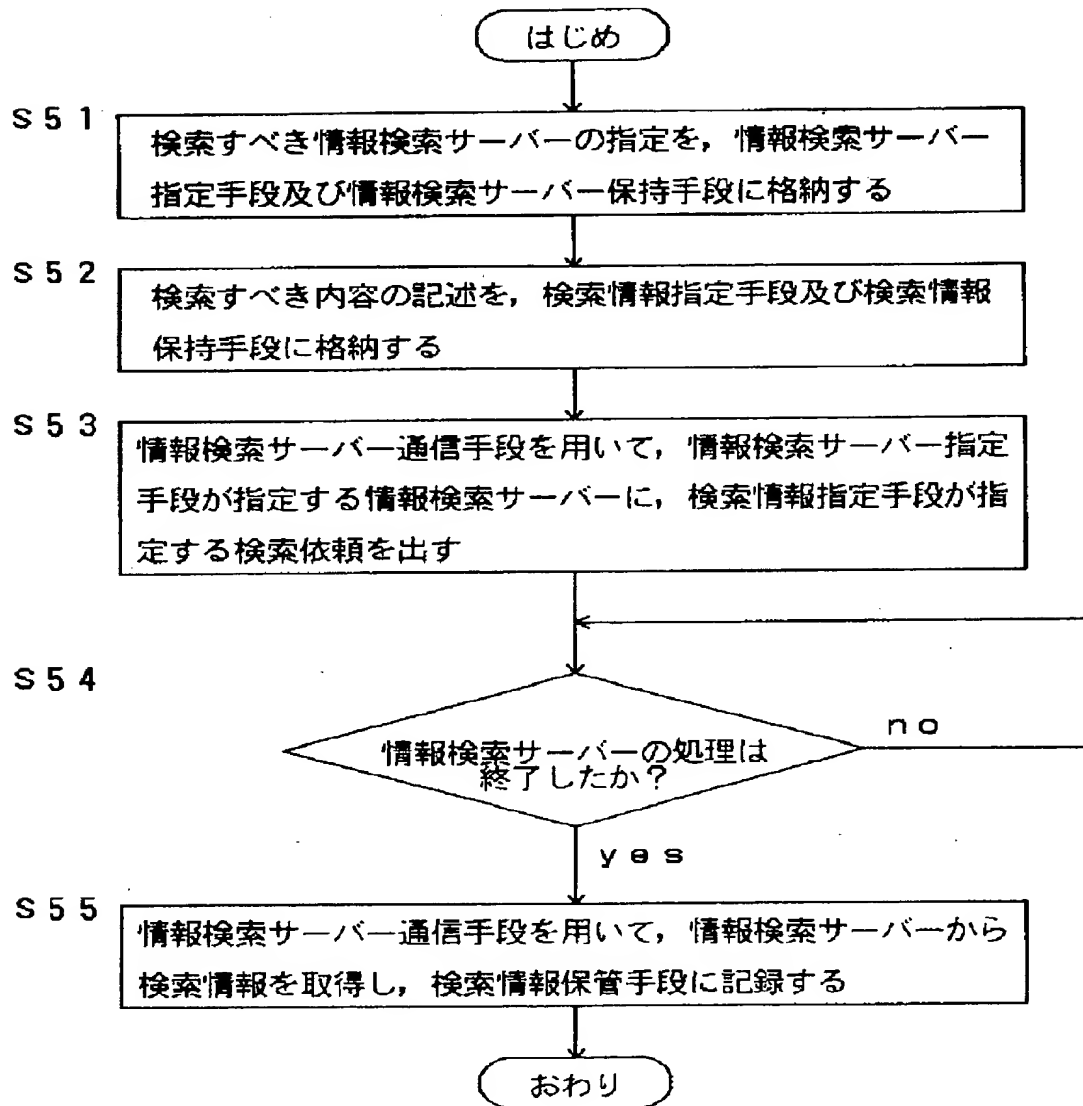
【図 12】

他の実施例構成図



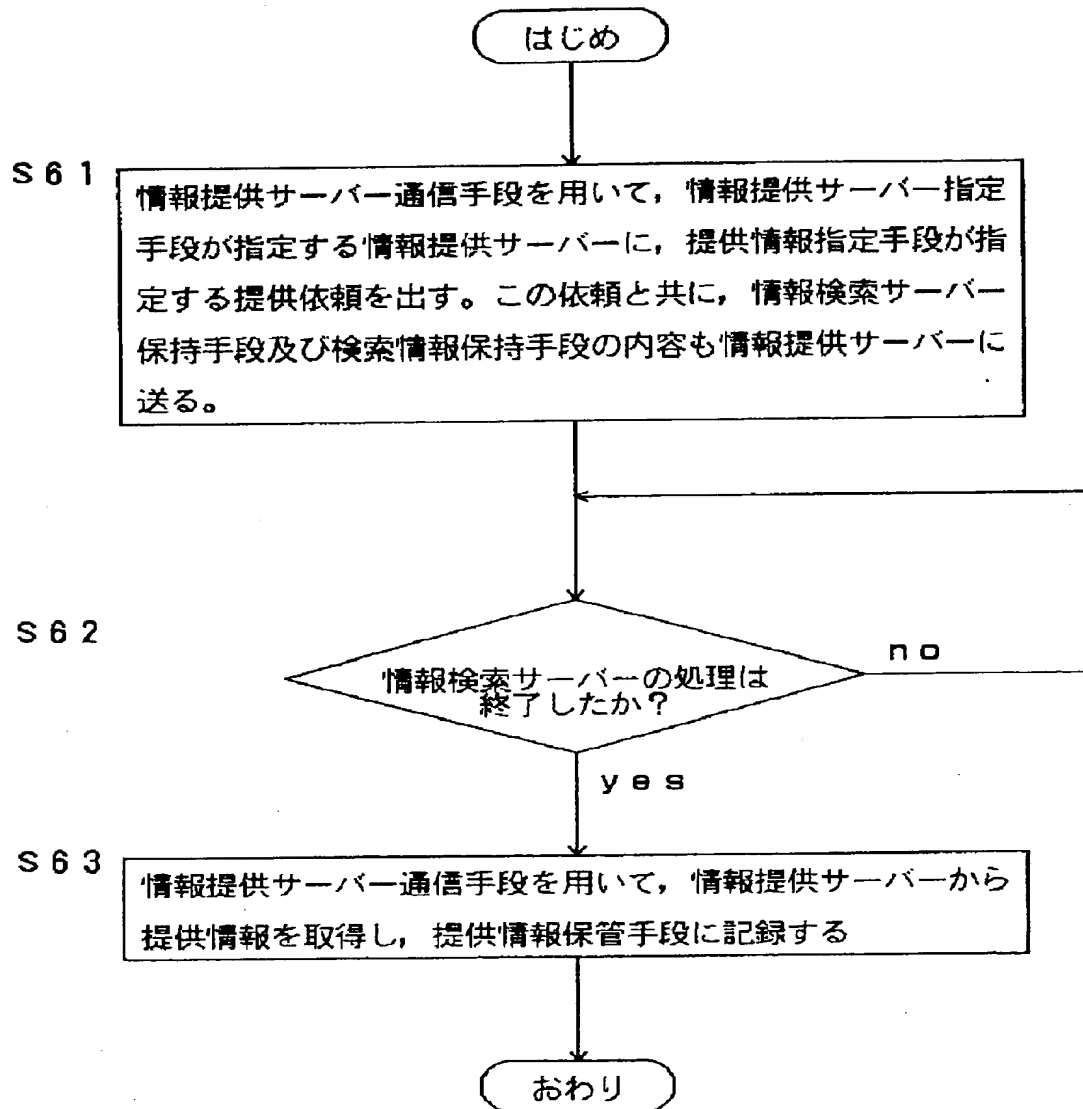
【図 1 5】

他の検索情報取得処理フロー

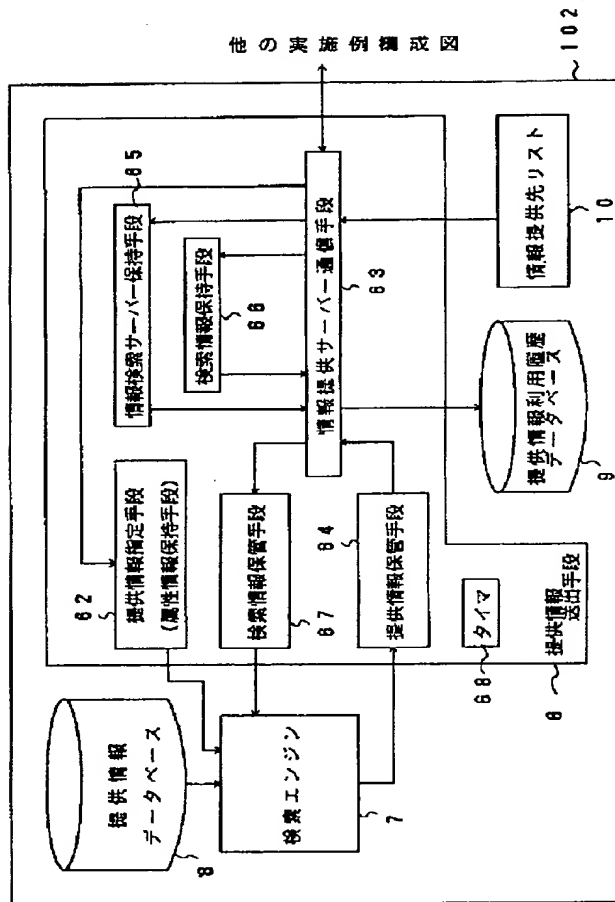


【図 1 6】

他の提供情報取得処理フロー

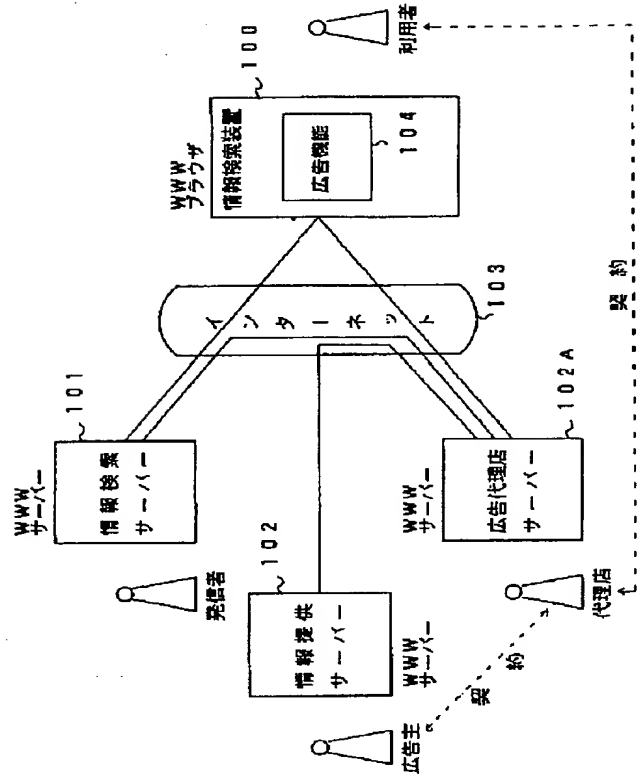


【図 17】



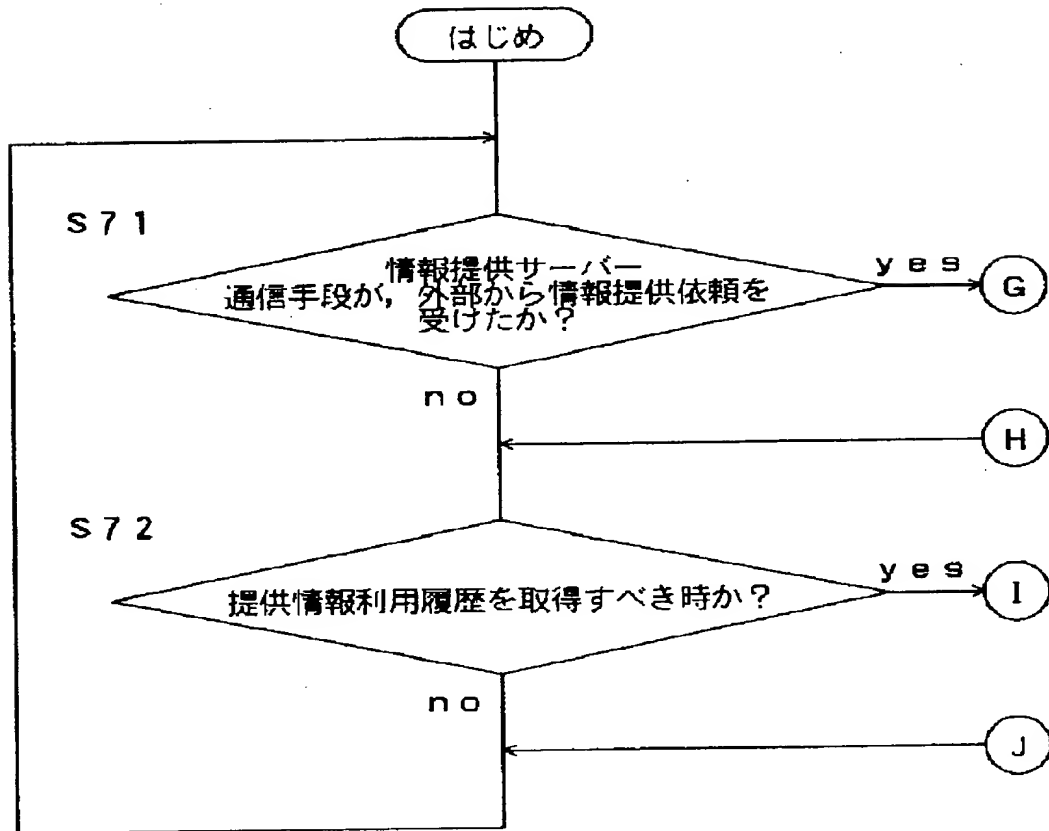
【図 21】

更に他の実施例説明図



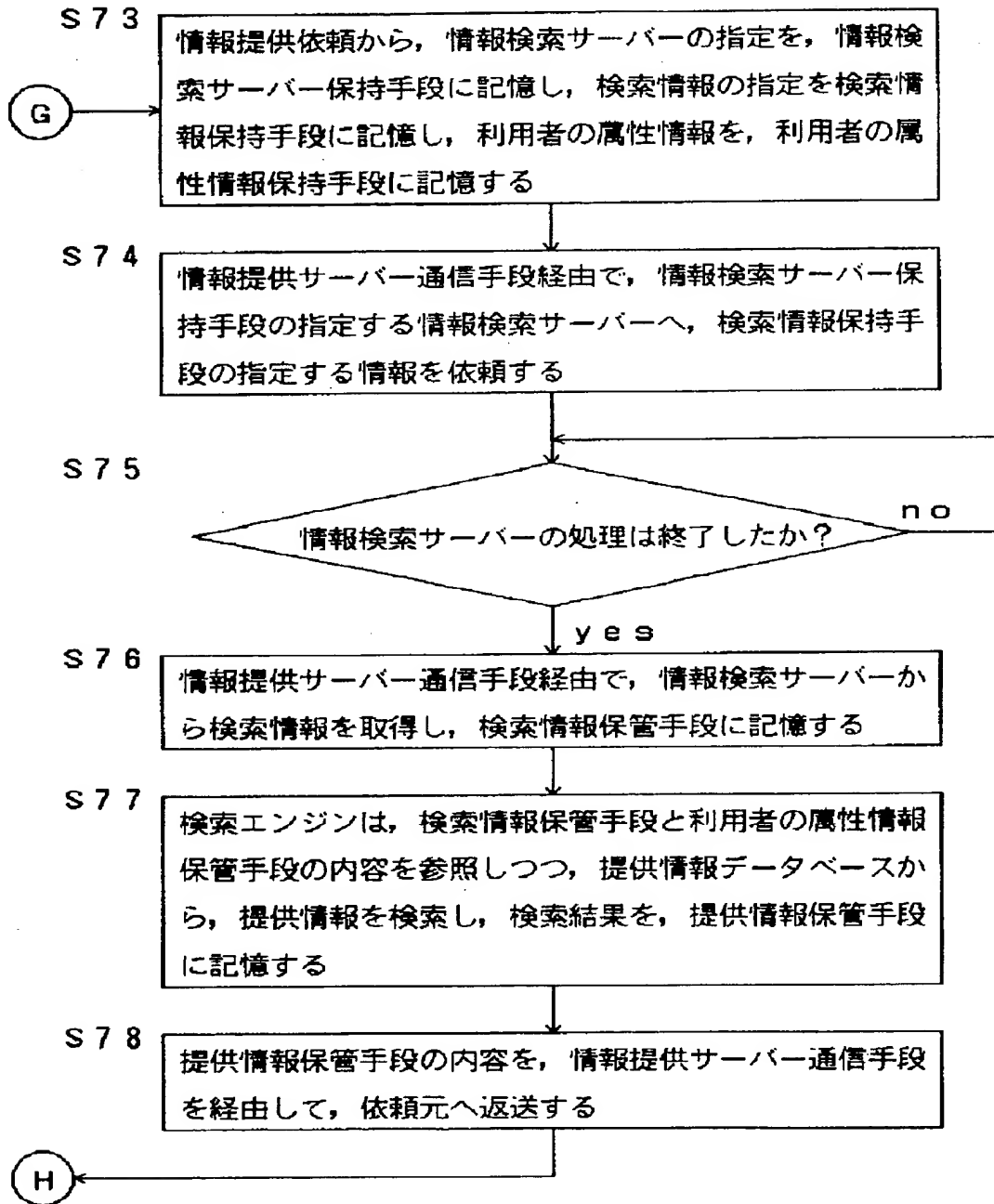
【図 18】

提供情報送出处理フロー



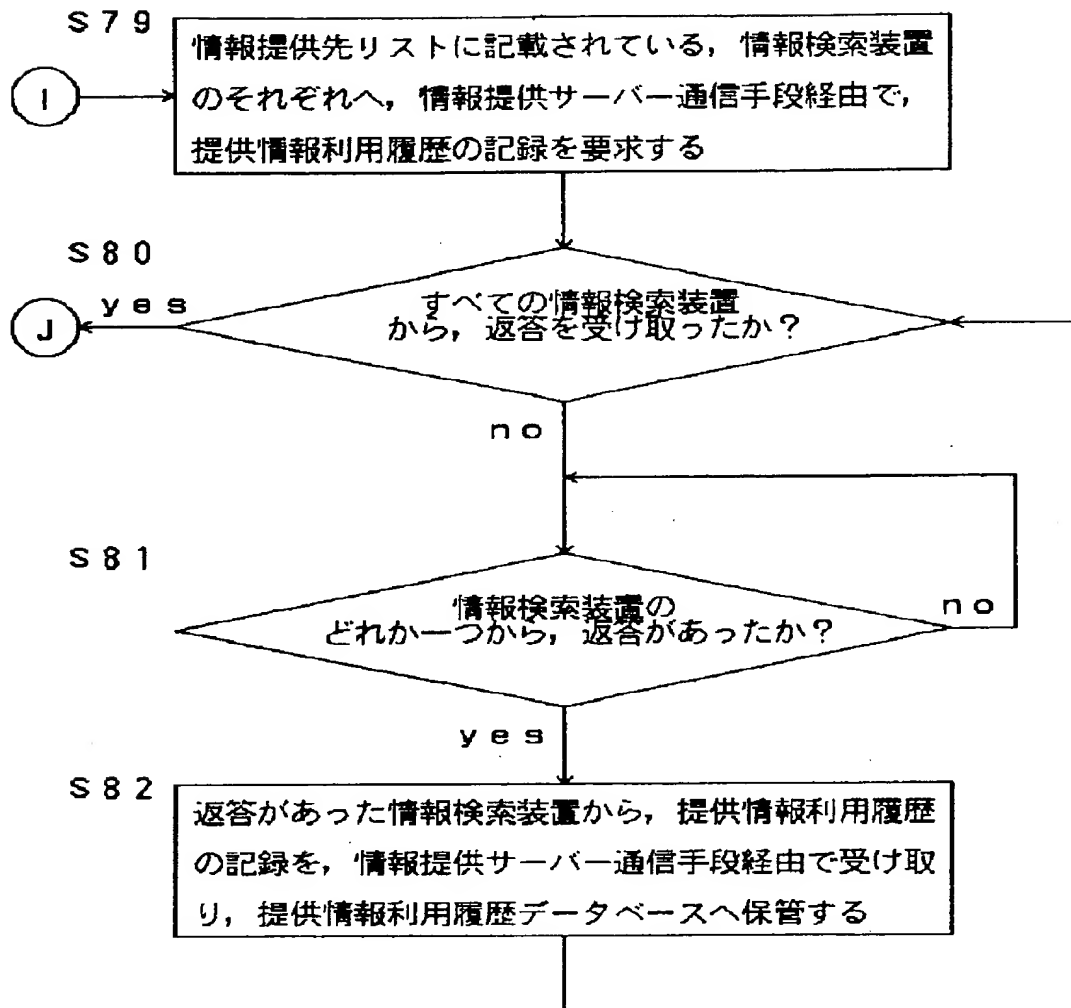
【図 19】

提供情報送出処理フロー



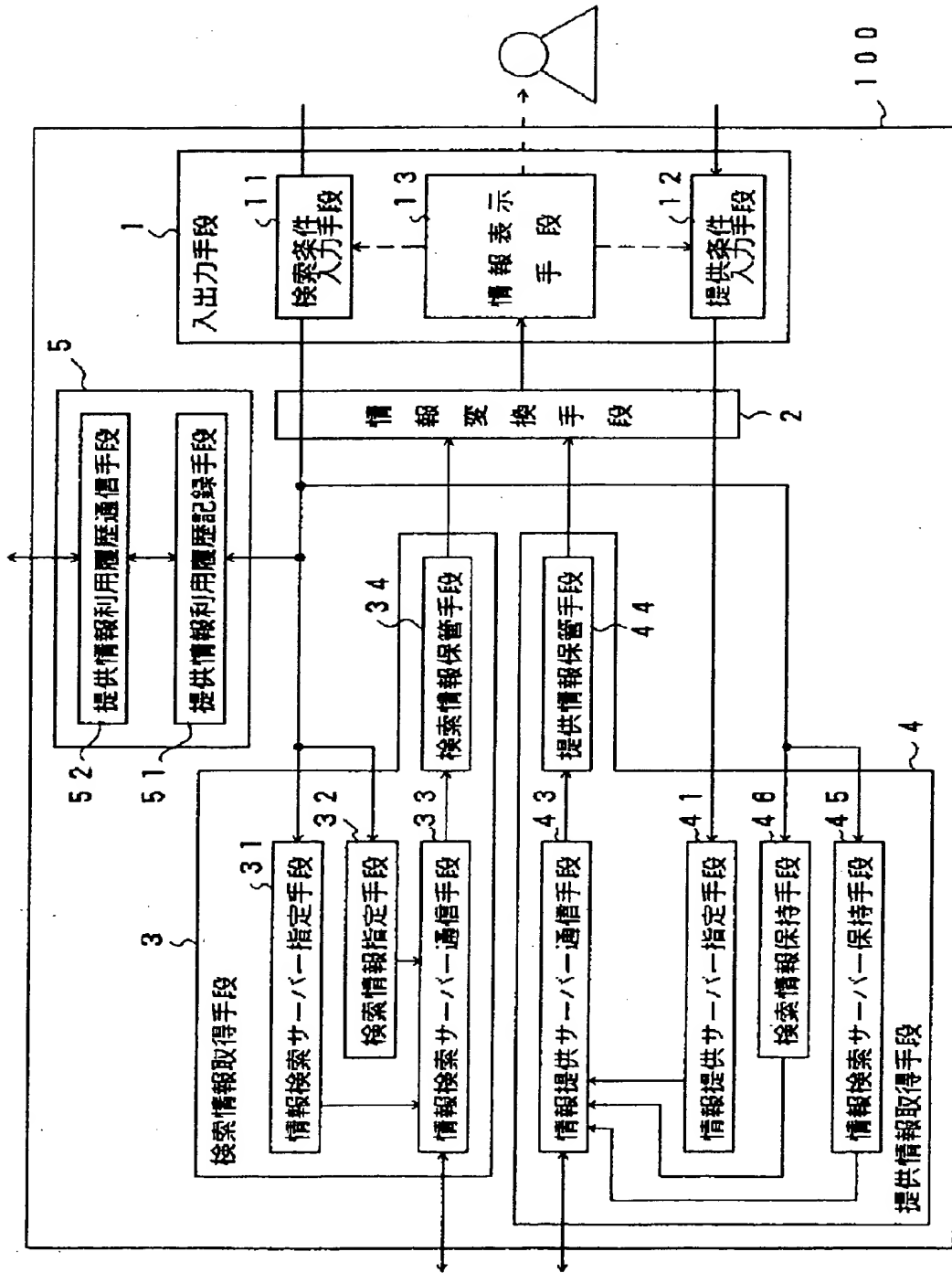
【図 20】

提供情報送出处理フロー



【図 22】

更に他の実施例構成図



【図 2 3】

